

別紙 2 - 1

人口動態調査事務システム

機能・帳票要件

機能・帳票要件一覧

※大項目が数字の事業が標準仕様書の対象範囲、英字は標準仕様書の対象範囲外となる。

大項目	中項目	機能ID	頁番号			
人口動態調査事務	1. 共通機能	1.1. 他システム連携	1.1.1. ~1.1.4.	3		
		1.2. マスタ管理機能	1.2.1. ~1.2.22.			
		1.3. 帳票作成管理機能	1.3.1. ~1.3.8.			
		1.4. 一覧管理機能	1.4.1. ~1.4.3.			
		1.5. 帳票出力機能	1.5.1. ~1.5.6.			
		1.6. ログ管理機能	1.6.1. ~1.6.3.			
		1.7. 操作権限設定・管理機能	1.7.1. ~1.7.3.			
		1.8. データ保存	1.8.1. ~1.8.2.			
		2. 調査票	2.1. 調査票作成機能		2.1.1. ~2.1.15.	7
2.1.3.1. 単体チェック機能共通	2.1.9.1.1. ~2.1.9.1.4.					
2.1.3.2. 出生票単体チェック機能	2.1.9.2.1. ~2.1.9.2.26.					
2.1.3.3. 死亡票単体チェック機能	2.1.9.3.1. ~2.1.9.3.37.					
2.1.3.4. 死産票単体チェック機能	2.1.9.4.1. ~2.1.9.4.28.					
2.1.3.5. 婚姻票単体チェック機能	2.1.9.5.1. ~2.1.9.5.11.					
2.1.3.6. 離婚票単体チェック機能	2.1.9.6.1. ~2.1.9.6.13.					
2.1.5.1. 出生票関連チェック機能	2.1.11.1.1. ~2.1.11.1.21.					
2.1.5.2. 死亡票関連チェック機能	2.1.11.2.1. ~2.1.11.2.17.					
2.1.5.3. 死産票関連チェック機能	2.1.11.3.1. ~2.1.11.3.18.					
2.1.5.4. 婚姻票関連チェック機能	2.1.11.4.1. ~2.1.11.4.13.					
2.1.5.5. 離婚票関連チェック機能	2.1.11.5.1. ~2.1.11.5.9.					
2.2. 調査票検索機能	2.2.1.					
2.3. 調査票一覧管理機能	2.3.1. ~2.3.3.					
2.4. 調査票出力機能	2.4.1. ~2.4.6.					
3. 事件簿	3.1. 調査票検索機能			3.1.1.	33	
				3.2. 事件簿一覧管理機能		
		3.3. 事件簿出力機能	3.3.1. ~3.3.4.			
4. 人口動態調査市町村送付票	4.1. 送付票作成機能	4.1.1. ~4.1.4.	34			
		4.2. 送付票検索機能		4.2.1.		
		4.3. 送付票一覧管理機能		4.3.1. ~4.3.2.		
		4.4. 送付票出力機能		4.4.1. ~4.4.8.		
5. 受理証明書	5.1. 死産票作成機能	5.1.1.	36			
		5.2. 死産票検索機能		5.2.1.		
		5.3. 死産票一覧管理機能		5.3.1.		
		5.4. 受理証明書出力機能		5.4.1. ~5.4.2.		

機能・帳票要件

大項目	中項目	小項目	機能ID (新)	機能ID (旧)	機能要件	実装区分	要件の考え方・理由	備考
1 共通機能	1.1 他システム連携	戸籍情報システムとの連携		1.1.1	調査票(出生、死亡、婚姻、離婚票)作成時、届書の処分決定または決裁時に戸籍情報システムから届書情報を取得できること。 ※1 共通基盤等との連携を含む ※2 データの参照、取り込みは問わず、人口動態調査事務システムで利用できること ※3 連携頻度は随時 ※4 死産票はレコード上、一切戸籍情報システムとインタフェイスを持たない ※5 戸籍情報システムから引き渡されるレコードのフォーマットが変更になる場合は必要な措置を講ずること ※6 国籍の名称と国籍コードのマスタを突合し、国籍のコードを設定すること	実装必須機能	戸籍情報システムとの連携要件を定めている。自治体の運用やベンダーシステムの形態により様々な運用形態があるため、標準として必要と想定される要件を※で追記している。 ・具体的な連携項目は、デジタル庁が「機能別連携仕様」として定めている。 ※4、※5は標準仕様書第三版「2-2戸籍情報システムとのインタフェイス」より引用。	
1 共通機能	1.1 他システム連携	火葬等許可事務システムとの連携		1.1.2	火葬等許可事務システムに、死産票情報を提供できること。 ※1 共通基盤等との連携を含む ※2 連携頻度は随時	標準オプション機能	火葬等許可事務システムとの連携要件を定めている。自治体の運用やベンダーシステムの形態により様々な運用形態があるため、標準として必要と想定される要件を※で追記している。 ・具体的な連携項目は、デジタル庁が「機能別連携仕様」として定めている。	
1 共通機能	1.1 他システム連携	文字要件		1.1.3	人口動態調査事務システムの文字要件については、「地方公共団体の基幹情報システムに係るデータ要件・連携要件標準仕様書」の規定に準ずる。 ※1 戸籍情報システムとのワンパッケージの場合は、戸籍情報システムで仕様する文字体系に準ずる。 ※2 戸籍情報システムとのワンパッケージ又は単独システムに関わらず、オンラインシステムへの連携時の文字体系はJIS第一水準、第二水準の範囲内とする。	実装必須機能	各基幹業務システム標準仕様書の統一基準による。	
1 共通機能	1.1 他システム連携	エラー処理		1.1.4	連携用のデータの取込時にエラーが発生した場合、エラー内容を確認できること。 また、エラー対応後、取込の再処理ができること。	標準オプション機能		
1 共通機能	1.2 マスタ管理機能	コード管理		1.2.1	コードマスタを管理(登録、修正、削除、照会)できること。	実装必須機能	・人口動態調査事務システム共通で管理するマスタについての記載であり、調査票、事件簿、送付票、受理証明書で管理するマスタについてはそれぞれの要件に記載している。 ・具体的なコード内容はデジタル庁がデータ要件(コード一覧)として定める。	
1 共通機能	1.2 マスタ管理機能	コード管理		1.2.2	機能ID:1.2.1の実装必須機能に以下も加えること。 CSV等による取込及びデータ入力により、一括でマスタのメンテナンスができること。	標準オプション機能	職員の利便性向上、正確性向上による。	
1 共通機能	1.2 マスタ管理機能	電子公印		1.2.3	帳票に印字する電子公印を管理できること。 ※1 職務代理者の公印も管理できること。 ※2 印影は自治体の要求するサイズで管理できることを目的として、画像ファイルの形式、解像度、容量等について幅広く対応できること ※3 帳票印刷時における、電子公印印刷の有無を設定できること	実装必須機能	各種証明書は、イメージ登録した公印での発行が認められているため。 なお、朱印による押印も認められている。	
1 共通機能	1.2 マスタ管理機能	電子公印		1.2.4	機能ID:1.2.3について、支所単位で管理できること。	標準オプション機能	支所単位で公印が異なる場合に対応を可能とする。	
1 共通機能	1.2 マスタ管理機能	生まれたところ(マスタ)		1.2.5	生まれたところについて、マスタで管理できること。	実装必須機能	職員の利便性向上、正確性向上による。	
1 共通機能	1.2 マスタ管理機能	死亡したところ(マスタ)		1.2.6	死亡したところについて、マスタで管理できること。	実装必須機能	職員の利便性向上、正確性向上による。	
1 共通機能	1.2 マスタ管理機能	死亡の場所の種別(マスタ)		1.2.7	死亡の場所の種別について、マスタで管理できること。	実装必須機能	職員の利便性向上、正確性向上による。	
1 共通機能	1.2 マスタ管理機能	死因の種別(マスタ)		1.2.8	死因の種別について、マスタで管理できること。	実装必須機能	職員の利便性向上、正確性向上による。	

大項目	中項目	小項目	機能ID (新)	機能ID (旧)	機能要件	実装区分	要件の考え方・理由	備考
1 共通機能	1.2 マスタ管理機能			1.2.9	死産があったところの種別について、マスタで管理できること。	実装必須機能	職員の利便性向上、正確性向上による。	
1 共通機能	1.2 マスタ管理機能			1.2.10	日本・外国の区別について、マスタで管理できること。	実装必須機能	職員の利便性向上、正確性向上による。	
1 共通機能	1.2 マスタ管理機能			1.2.11	国籍について、マスタで管理できること。	実装必須機能	職員の利便性向上、正確性向上による。	
1 共通機能	1.2 マスタ管理機能			1.2.12	世帯の主な仕事について、マスタで管理できること。	実装必須機能	今後、現在の11項目からデータ項目の内容が変更する可能性がある為。 職員の利便性向上、正確性向上による。	
1 共通機能	1.2 マスタ管理機能			1.2.13	職業について、マスタで管理できること。	実装必須機能	職員の利便性向上、正確性向上による。	
1 共通機能	1.2 マスタ管理機能			1.2.14	病名についてマスタで管理できること。	実装必須機能	職員の利便性向上、正確性向上による。	
1 共通機能	1.2 マスタ管理機能			1.2.15	病院情報(病院名、医師名)についてマスタで管理できること。	実装必須機能	職員の利便性向上、正確性向上による。	
1 共通機能	1.2 マスタ管理機能			1.2.16	市区町村コードについてマスタで管理できること。 ※1 現在の市区町村コードの都道府県名、市・群名、区町村名の表示を参照し、使用予定の市区町村コード等及び使用開始年月日を入力できること。	実装必須機能	自治体について市区町村コードの管理及びメンテナンスができればよい。 標準仕様書第三版 「2-3ファイル仕様」市区町村コードファイル 「2-5業務概要」J41008	
1 共通機能	1.2 マスタ管理機能			1.2.17	支所・出張所コードについてマスタで管理できること。 ※1 現在の支所・出張所コードの表示を参照し、使用予定の支所・出張所コード及び使用開始年月日を入力できること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「2-3ファイル仕様」市区町村コードファイル 「2-5業務概要」J42008	
1 共通機能	1.2 マスタ管理機能			1.2.18	保健所コードについてマスタで管理できること。 ※1 現在の保健所コード、保健所名の表示を参照し、使用予定の保健所コード及び使用開始年月日を入力できること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「2-3ファイル仕様」市区町村コードファイル 「2-5業務概要」J43008	
1 共通機能	1.2 マスタ管理機能			1.2.19	首長名についてマスタで管理できること。 ※1 現在の首長名の表示を参照し、使用予定の首長名及び使用開始年月日を入力できること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「2-3ファイル仕様」市区町村コードファイル 「2-5業務概要」J44008	
1 共通機能	1.2 マスタ管理機能			1.2.20	各マスタ情報(機能ID:)について、入力値によりファイルの書き換えができること。	標準オプション機能	標準仕様書第三版 「2-5業務概要」J41008、J42008、J43008、J44008	
1 共通機能	1.2 マスタ管理機能			1.2.21	各マスタ情報を使用するすべての出力、内容審査はすべて上記のマスタファイルを使用すること。 人口動態調査の性格から新旧2つの市区町村コード等(支所・出張所コード、保健所コード、首長名)及び使用予定の市区町村コード等を保有し、最初に新しいコード等を使用する時はこのファイルまたはレコードの中で新旧及び使用予定のコード等の配列替えを行えること。 この機能は既存のシステムに組み込まれている場合、そちらを利用してもよい。(人口動態調査事務システムで要求する属性及びデータ利用に関する制限が守られている場合に限る)	標準オプション機能	標準仕様書第三版 「2-5業務概要」J41008	
1 共通機能	1.2 マスタ管理機能			1.2.22	マスタ管理情報は、使用開始年月日による管理ができること。	標準オプション機能	マスタの変更スケジュールを事前登録し、自動的に切り替えることを可能とする。	
1 共通機能	1.3 帳票作成管理機能		終了	1.3.1	調査票等の作成等を途中で終了できること。 ※1 必要な項目の入力が終了していない場合は終了できない。 ※2 入力項目の内容審査を全て終了していない場合はこの機能を選択できない。	実装必須機能		
1 共通機能	1.3 帳票作成管理機能		中断	1.3.2	調査票等の作成等を途中で中断できること。 ※1 入力値は全てキャンセルとなる。	実装必須機能		
1 共通機能	1.3 帳票作成管理機能		キャンセル	1.3.3	「人口動態項目入力」「全項目入力」「修正入力」において、入力値を初期値に戻すことができること。 ※1 「人口動態項目入力」及び「修正入力」においては登録済みデータを表示する。 ※2 「全項目入力」では全ての入力項目をゼロ又はスペースで表示する。	実装必須機能		

大項目	中項目	小項目	機能ID (新)	機能ID (旧)	機能要件	実装区分	要件の考え方・理由	備考
1 共通機能	1.3 帳票作成管理機能		登録	1.3.4	調査レコード及び市区町村レコードを登録できること。 ※1 必要項目の入力が終了していない場合及び入力項目の内容審査を全て終了していない場合は利用できない。	実装必須機能		
1 共通機能	1.3 帳票作成管理機能		頁移動	1.3.5	一覧表示及びレコードを複数の画面に渡って展開する場合、頁移動ができること。 ※1 表示画面内で必要項目の入力が終了していない場合及び入力項目の単体チェックが完了していない場合は無効となる ※2 頁は当該処理内でのみ有効な概念で、処理を超えてこの機能が働くことはない	標準オプション機能	標準仕様書第三版「3-1制御機能一覧」次頁、前項	
1 共通機能	1.3 帳票作成管理機能		備考欄処理	1.3.6	備考欄の入力終了が内容審査の終了も兼ねること。 ※1 備考欄への入力が終了すると、その項目に係る内容審査は終了したものとし、制御は次項目に移動する	実装必須機能		
1 共通機能	1.3 帳票作成管理機能		確認欄処理	1.3.7	入力項目の審査結果により、確認欄に該当する項目番号を自動で記載できること。	標準オプション機能		
1 共通機能	1.3 帳票作成管理機能		確認欄処理	1.3.8	確認欄の入力終了が内容審査の終了も兼ねること。 ※1 確認欄への入力が終了すると、その項目に係る内容審査は終了したものとし、制御は次項目に移動する	実装必須機能		
1 共通機能	1.4 一覧管理機能		EUC機能	1.4.1	EUC機能(「地方公共団体の基幹業務システムの共通機能に関する標準仕様書」に規定するEUC機能を用いて、データの抽出・分析・加工・出力ができること。 データソース(どのデータ項目を対象とするか)は、「地方公共団体の基幹業務システムに係るデータ要件・連携要件の標準仕様書」の「基本データリスト(人口動態調査事務システム)」に規定するデータ項目とする。	実装必須機能	当要件は、人口動態調査事務共通として定義しており、各許可証発行に付帯して必要となる要件は、各許可証の機能・帳票要件に定義している。	EUC機能活用例 ・低出生体重児名簿 ・人口動態送付内訳 ・人口動態調査票出力対象一覧 ・人口動態調査票取扱集計表
1 共通機能	1.4 一覧管理機能		二次利用注意喚起メッセージ	1.4.2	機能ID:1.4.1において統計業務の二次利用となる場合は、注意喚起のメッセージを出力できること。	実装必須機能		「(参考)統計データの二次利用の場合は、所定の手続きをしてください。」
1 共通機能	1.4 一覧管理機能		検索結果	1.4.3	一覧画面において、表示件数を定めるなど、検索に時間がかからない仕組みにすること。	標準オプション機能		
1 共通機能	1.5 帳票出力機能		電子公印	1.5.1	公印が必要な帳票を出力する場合は、電子公印もしくは「(公印省略)」といった文言を印字できること。 ※1 帳票単位で設定した電子公印を印字すること なお、電子公印等は複数管理でき、必要に応じて切り替えができること。 ※2 職務代理者の公印印字も対応できること ※3 公印もしくは「(公印省略)」といった文言の印字有無をパラメタ等で設定できること	実装必須機能	帳票レイアウトに表記している「印」の部分については、公印もしくは「(公印省略)」といった文言を印字する場所を示すものであるため、公印もしくは「(公印省略)」といった文言を印字しない場合は、「印」の部分は表記しないこと。	
1 共通機能	1.5 帳票出力機能		事件簿番号	1.5.2	事件簿番号を自動で採番できること。	標準オプション機能	職員の利便性向上、正確性向上による。	
1 共通機能	1.5 帳票出力機能		一括出力	1.5.3	出力可能な帳票が複数存在する場合、出力可能な帳票種類が一覧形式で表示され、一括で出力する帳票を指定できること。	実装必須機能	職員の利便性向上による。	
1 共通機能	1.5 帳票出力機能		プリンタ選択	1.5.4	出力先のプリンタの設定ができること。	実装必須機能		
1 共通機能	1.5 帳票出力機能		印刷設定	1.5.5	印刷時の出力プリンタの変更、用紙(カセット)指定、原稿の向き、出力先の指定、カラー/白黒選択、解像度指定ができること。	標準オプション機能		

大項目	中項目	小項目	機能ID (新)	機能ID (旧)	機能要件	実装区分	要件の考え方・理由	備考
1 共通機能	1.5 帳票出力機能		帳票設定	1.5.6	帳票の固定文言(教示文全体を含む)を管理できること。 ※1 各帳票のシステム印字項目単位に設定できること ※2 ※1に加え、管轄や所属等の印刷場所単位に設定できること ※3 印字有無、文言を設定できること ※4 文言は、次の管理ができること ・複数行(改行付き)を管理できること ・先頭文字に全角空白文字を設定できるなどインデントに対応できること ・文字の強調(ボールド、アンダーライン、文字サイズ等)は含まない	実装必須機能		
1 共通機能	1.6 ログ管理機能		操作ログ	1.6.1	取得対象:(a)照会、(b)帳票発行、(c)調査票作成、(d)調査票修正、(e)調査票削除 記録対象:操作者ID、開始日時、終了日時、端末名、機能名	実装必須機能		
1 共通機能	1.6 ログ管理機能		印刷ログ	1.6.2	記録対象:印刷者ID、印刷日時、帳票名、操作者ID、印刷プリンタ(又は印刷端末名)、部数、公印出力の有無、発行番号	実装必須機能		
1 共通機能	1.6 ログ管理機能		ログの分析	1.6.3	システムの利用者及び管理者のログについては、分析・ファイル出力が作成できること。	標準オプション機能		
1 共通機能	1.7 操作権限設定・管理機能		操作権限設定・管理	1.7.1	発注者のシステム操作権限ポリシーに基づき、システムの利用者及び管理者に対して、個人単位でID及びパスワード、利用者名称、所属部署名称、操作権限(入力処理や表示・閲覧等の権限)、利用範囲及び期間が管理できること。 職員の利用権限管理ができ、利用者とパスワードを登録し利用権限レベルが設定できること。 操作者IDとパスワードにより認証ができ、パスワードは利用者による変更、システム管理者による初期化ができること。 アクセス権限の付与は、利用者単位で設定できること。 ID パスワードによる認証に加え、ICカードや静脈認証等の生体認証を用いた二要素認証に対応すること。 複数回の認証の失敗に対して、アカウントロック状態にできること。 他の職員が調査票の作成を行っている間は、該当の調査票情報について閲覧以外の作業ができないよう、排他制御ができること。 アクセス権限の設定は、システム管理者により設定できること。 アクセス権限の付与も含めたユーザ情報の登録・変更・削除はスケジューラーに設定する等、事前に準備ができること。 また、事務分掌による利用者ごとの表示・閲覧項目及び実施処理の制御ができること。 なお、操作権限管理については、個別及び一括での各種制御やメンテナンスができること。	実装必須機能	各基幹業務システム標準仕様書の統一基準による。	
1 共通機能	1.7 操作権限設定・管理機能		操作権限設定	1.7.2	戸籍情報システムと人口動態調査事務システムで別々にアクセス権を設定できること。 ※1 戸籍情報システム以外の他システムについても、パッケージとする場合には、アクセス権をそれぞれのシステムごとに設定できること。	実装必須機能		
1 共通機能	1.7 操作権限設定・管理機能		シングルサインオン	1.7.3	シングルサインオンを使用できること。	標準オプション機能		
1 共通機能	1.8 データ保存		データ保存期間	1.8.1	システムで取り扱うレコードの保存期間を1か月とすること。 ※1 14日提出分の調査票の処理が終了次第、データファイルを初期化	実装必須機能		
1 共通機能	1.8 データ保存		バックアップ	1.8.2	システムで取り扱うレコードについてバックアップを取得すること。 ※1 人口動態調査レコードバックアップ保存期間は機能ID:1.8.1にてデータファイルを初期化した時点から1か月とすること。	実装必須機能		

大項目	中項目	小項目		機能ID (新)	機能ID (旧)	機能要件	実装区分	要件の考え方・理由	備考
2 調査票									
2 調査票	2.1 調査票作成機能		新規作成		2.1.1	調査票の新規作成ができること。 ※1 戸籍情報システムからレコードを画面の各届書の様式上に表示できること。(死産票を除く) ※2 何も入力されていない各調査票の様式を画面に表示できること。(死産及び死産以外の4事象においてレコードが消失した場合)	実装必須機能	標準仕様書第三版 「2-5業務概要」J31000	
2 調査票	2.1 調査票作成機能		作成		2.1.2	機能ID:2.1.1において戸籍の処分決定または決裁後に一連の流れで調査票を作成できること。	標準オプション機能		
2 調査票	2.1 調査票作成機能		入力		2.1.3	人口動態調査出生票に、「子の氏名」「生まれたとき」「子の住所」等を入力できること。	実装必須機能		
2 調査票	2.1 調査票作成機能		入力		2.1.4	人口動態調査死亡票に、「氏名」「死亡したとき」「死亡した人の住所」等を入力できること。	実装必須機能		
2 調査票	2.1 調査票作成機能		入力		2.1.5	人口動態調査死産票に、「父母の氏名」「死産があったとき」「死産があったときの母の住所」等を入力できること。	実装必須機能		
2 調査票	2.1 調査票作成機能		入力		2.1.6	人口動態調査婚姻票に、「夫の氏名」「妻の氏名」「夫の住所」等を入力できること。	実装必須機能		
2 調査票	2.1 調査票作成機能		入力		2.1.7	人口動態調査離婚票に、「夫の氏名」「妻の氏名」「別居する前の住所」等を入力できること。	実装必須機能		
2 調査票	2.1 調査票作成機能		修正		2.1.8	作成済みの調査票の内容を修正できること。 ※1 調査票一覧から修正したい調査票押下又は調査票を選択した状態で編集ボタン押下で、入力画面に遷移	実装必須機能		
2 調査票	2.1 調査票作成機能		入力値チェック		2.1.9	機能ID:2.1.2~2.1.7での入力値について各調査票毎の単体チェックを行うこと。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「2-5業務概要」J3-1-2、3-2-2	
2 調査票	2.1 調査票作成機能	2.1.9.1 単体チェック共通	必須項目		2.1.9.1.1	必須入力項目が入力されていることを確認できること。 ※1 必須入力項目が入力されていない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」共 「4-2画面メッセージ」M90039	「(参考)この項目は入力が必要です。必ず入力してください。」
2 調査票	2.1 調査票作成機能	2.1.9.1 単体チェック共通	属性		2.1.9.1.2	正しい属性が入力されていることを確認できること。 ※1 属性が正しく入力されていない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」共 「4-2画面メッセージ」M90049	「(参考)属性が間違っています。」
2 調査票	2.1 調査票作成機能	2.1.9.1 単体チェック共通	事件簿番号		2.1.9.1.3	「事件簿番号」の入力値が、0001~9999であることを確認できること。 ※1 重複する事件簿番号が存在する場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30041 「4-2画面メッセージ」M90059	「(参考)この事件簿番号はすでに入力済みです。入力ミス、二重入力または事件簿番号の付与エラーと恐れられます。確認してください。」
2 調査票	2.1 調査票作成機能	2.1.9.1 単体チェック共通	受付年月日		2.1.9.1.4	「受付年月日」の入力値が、受付年月日 ≤ 入力年月日であることを確認できること。 ※1 受付年月日 ≤ 入力年月日でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30051 「4-2画面メッセージ」M90069	「(参考)本日より後の日付で届出を受付けることはありません。修正してください。」
2 調査票	2.1 調査票作成機能	2.1.9.2 出生票単体チェック機能	子の氏名、父の氏名、母の氏名		2.1.9.2.1	「子の氏名」「父の氏名」「母の氏名」の入力値が、JIS第1.2水準以内の文字であることを確認できること。 ※1 JIS第1.2水準以内の文字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30061、K30141、K30161 「4-2画面メッセージ」M90079	「(参考)外字が含まれています。ヨミガナを入力するか、処理を続行して下さい。」
2 調査票	2.1 調査票作成機能	2.1.9.2 出生票単体チェック機能	続き柄及び性別		2.1.9.2.2	「続き柄」の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 嫡出子 ・2 非嫡出子 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30071 「4-1コードテーブル」D20019 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」

大項目	中項目	小項目		機能ID (新)	機能ID (旧)	機能要件	実装区分	要件の考え方・理由	備考
2	調査票 作成機能	2.1.9.2 出生票単体 チェック機能	続き柄及び 性別		2.1.9.2.3	「性別」の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 男 ・2 女 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30081 「4-1コードテーブル」D20029 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」
2	調査票 作成機能	2.1.9.2 出生票単体 チェック機能	出生日時		2.1.9.2.4	「出生日時」の年号の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 昭和 ・2 平成 ・3 令和 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。 ※2 出生年月日が大正以前である場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30091 「4-1コードテーブル」D20039 「4-2画面メッセージ」M90019、M00011	「(参考)この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」 「(参考)出生年月日が大正以前です。修正するか、誤りでなければ備考欄に項目番号を記載してください。(M00011)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.2 出生票単体 チェック機能	出生日時		2.1.9.2.5	「出生日時」の年月日の入力値が入力可能な数字であることを確認できること。 ※1 年月日が入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30091 「4-1コードテーブル」D20049 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.2 出生票単体 チェック機能	出生日時		2.1.9.2.6	「出生日時」の時間の入力値がスペースでなく、以下の範囲であることを確認できること。 ・0～11 ※1 範囲外の時間である場合、メッセージを表示すること。 ※2 出生時間が入力されていない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30091 「4-2画面メッセージ」M90029、M00021	「(参考)範囲外の数字が入力されました。再入力してください。(M90029)」 「(参考)出生時間が入力してありません。入力するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。(M00021)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.2 出生票単体 チェック機能	出生日時		2.1.9.2.7	「出生日時」の午前/午後の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 午前 ・2 午後 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30091 「4-1コードテーブル」D20049 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.2 出生票単体 チェック機能	生まれたところ		2.1.9.2.8	「生まれたところ」の入力値がマスターデータの範囲であることを確認できること。 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30101 「4-1コードテーブル」D20059 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.2 出生票単体 チェック機能	子の住所 (日本・外国 の区分)		2.1.9.2.9	「子の住所(日本・外国の区分)」の入力値がマスターデータの範囲であることを確認できること。 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30121 「4-1コードテーブル」D20069 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.2 出生票単体 チェック機能	父の生年月日、 母の生年月日		2.1.9.2.10	「父の生年月日」、「母の生年月日」の年号の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 大正 ・2 昭和 ・3 平成 ・4 令和 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。 ※2 大正以降でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30151 「4-1コードテーブル」D20011 「4-2画面メッセージ」M90019、M00031	「(参考)この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」 「(参考)父の生年月日が明治以前です。修正するか、誤りでなければ備考欄にその旨記載してください。(M00031)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.2 出生票単体 チェック機能	母の生年月日		2.1.9.2.11	「母の生年月日」の入力値より計算した母の年齢が50歳未満であることを確認できること。 ※1 50歳以上の場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30171 「4-2画面メッセージ」M00019	「(参考)母の年齢が50歳以上です。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。(M00019)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.2 出生票単体 チェック機能	父の国籍、 母の国籍		2.1.9.2.12	「父の国籍」、「母の国籍」の入力値がマスターデータの範囲であることを確認できること。 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30191、K30211 「4-1コードテーブル」D20079 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」

大項目	中項目	小項目		機能ID (新)	機能ID (旧)	機能要件	実装区分	要件の考え方・理由	備考
2	調査票 作成機能	2.1.9.2 出生票単体 チェック機能	同居を始めたとき		2.1.9.2.13	「同居を始めたとき」の入力値がスペースでないことを確認できること。 ※1 「元号」「年」「月」のいずれか1つでもスペースである場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30221 「4-2画面メッセージ」M00109	「(参考)「元号」「年」「月」すべての入力が必要で。入力するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。(M00109)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.2 出生票単体 チェック機能	同居を始めたとき		2.1.9.2.14	「同居を始めたとき」の年号の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 昭和 ・2 平成 ・3 令和 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30221 「4-1コードテーブル」D20039 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.2 出生票単体 チェック機能	子が生まれたときの世帯の主な仕事		2.1.9.2.15	「子が生まれたときの世帯の主な仕事」の入力値がマスターデータの範囲であることを確認できること。 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30231 「4-1コードテーブル」D20089 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.2 出生票単体 チェック機能	他の子の事件簿番号・種別		2.1.9.2.16	「他の子の事件簿番号・種別」の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 出生票 ・2 死亡票 ※1 選択可能な数字でない場合、とメッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30261 「4-1コードテーブル」D20169 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.2 出生票単体 チェック機能	他の子の事件簿番号・番号		2.1.9.2.17	「他の子の事件簿番号・番号」の入力値が0001～9999であることを確認できること。 ※1 0001～9999以外の数字の場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30271 「4-2画面メッセージ」M90029	「(参考)範囲外の数字が入力されました。再入力してください。(M90029)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.2 出生票単体 チェック機能	出生場所種別		2.1.9.2.18	「出生場所種別」の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 病院 ・2 診療所 ・3 助産所 ・4 自宅 ・5 その他 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30261 「4-1コードテーブル」D20099 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.2 出生票単体 チェック機能	子の体重		2.1.9.2.19	「子の体重」の入力値が500g≤体重<6000gであることを確認できること。 ※1 子の体重が500g未満及び6000g以上の場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30301 「4-2画面メッセージ」M00059	「(参考)体重が0.5kg～6kgの範囲にありません。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。(M00059)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.2 出生票単体 チェック機能	体重不詳、身長不詳		2.1.9.2.20	「体重不詳」、「身長不詳」の入力値が以下の値またはスペースであることを確認できること。 ・1 不詳 ※1 選択可能な数字またはスペースでない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30311、K30331 「4-1コードテーブル」D20109 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.2 出生票単体 チェック機能	子の身長		2.1.9.2.21	「子の身長」の入力値が27cm≤身長<58cmであることを確認できること。 ※1 27cm≤身長<58cmでない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30321 「4-2画面メッセージ」M00301	「(参考)身長が27cm～57cmの範囲にありません。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。(M00301)」

大項目	中項目	小項目		機能ID (新)	機能ID (旧)	機能要件	実装区分	要件の考え方・理由	備考	
2	調査票 作成機能	2.1.9.2 出生票単体 チェック機能	単胎・多胎 の別		2.1.9.2.22	「単胎・多胎の別」の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 単胎 ・2 多胎 ・3 不詳 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30341 「4-1コードテーブル」D20179 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」	
2	調査票 作成機能	2.1 調査票 作成機能	2.1.9.2 出生票単体 チェック機能	妊娠期間・ 週数		2.1.9.2.23	「妊娠期間・週数」の入力値がスペースでないことを確認できること。 ※1 妊娠週数がスペースの場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30371 「4-2画面メッセージ」M00049	「(参考)妊娠週数は入力が必要です。入力するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。(M00049)」
2	調査票 作成機能	2.1 調査票 作成機能	2.1.9.2 出生票単体 チェック機能	妊娠期間・ 週数		2.1.9.2.24	「妊娠期間・週数」の入力値が21<妊娠週数<44であることを確認できること。 ※1 21<妊娠週数<44の範囲にない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30371 「4-2画面メッセージ」M00039	「(参考)妊娠週数が22～43週の範囲にありません。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。(M00039)」
2	調査票 作成機能	2.1 調査票 作成機能	2.1.9.2 出生票単体 チェック機能	妊娠期間・ 日数		2.1.9.2.25	「妊娠期間・日数」の入力値が0≤妊娠日数<7であることを確認できること。 ※1 妊娠日数が0≤妊娠日数<7の範囲にない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30381 「4-2画面メッセージ」M00209	「(参考)妊娠週数が0～6日の範囲にありません。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。(M00209)」
2	調査票 作成機能	2.1 調査票 作成機能	2.1.9.2 出生票単体 チェック機能	立会者		2.1.9.2.26	「立会者」の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 医師 ・2 助産師 ・3 その他 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30411 「4-1コードテーブル」D20119 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」
2	調査票 作成機能	2.1 調査票 作成機能	2.1.9.3 死亡票単体 チェック機能	氏名		2.1.9.3.1	「氏名」の入力値がJIS第1.2水準以内の文字であることを確認できること。 ※1 JIS第1.2水準以外の文字の場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30062 「4-2画面メッセージ」M90079	「(参考)外字が含まれています。ヨミガナを入力するか、処理を続行して下さい。(M90079)」
2	調査票 作成機能	2.1 調査票 作成機能	2.1.9.3 死亡票単体 チェック機能	性別		2.1.9.3.2	「性別」の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 男 ・2 女 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30072 「4-1コードテーブル」D20029 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」
2	調査票 作成機能	2.1 調査票 作成機能	2.1.9.3 死亡票単体 チェック機能	生年月日		2.1.9.3.3	「生年月日」の年号の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 明治 ・2 大正 ・3 昭和 ・4 平成 ・5 令和 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30082 「4-1コードテーブル」D20012 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」
2	調査票 作成機能	2.1 調査票 作成機能	2.1.9.3 死亡票単体 チェック機能	生年月日		2.1.9.3.4	「生年月日」の入力値が、死亡者が生後30日以内の時は、午前・午後、時間はスペースでなく選択可能な数字が入力されていることを確認できること。また、午前/午後の入力値は以下の範囲であること。 ・1 午前 ・2 午後 ※1 死亡者が生後30日以内に関わらず、午前・午後、時間が入力されていない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30082 「4-1コードテーブル」D20049 「4-2画面メッセージ」M90019、M90029	「(参考)この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」 「(参考)範囲外の数字が入力されました。再入力してください。(M90029)」

大項目	中項目	小項目		機能ID (新)	機能ID (旧)	機能要件	実装区分	要件の考え方・理由	備考
2	調査票 作成機能	2.1.9.3 死亡票単体 チェック機能	生年月日		2.1.9.3.5	「生年月日」の入力値が、「月」以降がスペースなのは「推定」の場合のみであることを確認できること。 ※1 「推定」でないにも関わらず生年月日「月」以降がスペースである場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30082 「4-2画面メッセージ」M00012	「(参考)「月」以降がスペースです。修正するか、「推定」の場合は、備考欄にその旨記載してください。(M00012)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.3 死亡票単体 チェック機能	生年月日		2.1.9.3.6	「生年月日」の入力値から計算した死亡者の年齢が100歳未満であることを確認できること。 ※1 死亡者の年齢が100歳以上である場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30082 「4-2画面メッセージ」M00022	「(参考)死亡者の年齢が100歳以上です。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。(M00022)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.3 死亡票単体 チェック機能	生年月日不詳		2.1.9.3.7	「生年月日不詳」の入力値が以下の範囲またはスペースであることを確認できること。 ・1 不詳 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30092 「4-1コードテーブル」D20109 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができます。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.3 死亡票単体 チェック機能	死亡したとき		2.1.9.3.8	「死亡したとき」の年号の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 昭和 ・2 平成 ・3 令和 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30102 「4-1コードテーブル」D20039 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができます。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.3 死亡票単体 チェック機能	死亡したとき		2.1.9.3.9	「死亡したとき」の午前/午後の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 午前 ・2 午後 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30102 「4-1コードテーブル」D20049 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができます。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.3 死亡票単体 チェック機能	死亡したとき		2.1.9.3.10	「死亡したとき」の日付、時間の入力値が入力範囲内であることを確認できること。 ※1 範囲外の時間である場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30102 「4-2画面メッセージ」M90029	「(参考)範囲外の数字が入力されました。再入力してください。(M90029)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.3 死亡票単体 チェック機能	死亡したとき		2.1.9.3.11	「死亡したとき」の入力値が「月」以降がスペースなのは「推定」の場合のみであることを確認できること。 ※1 「推定」でないにも関わらず生年月日「月」以降がスペースである場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30102 「4-2画面メッセージ」M00012	「(参考)「月」以降がスペースです。修正するか、「推定」の場合は、備考欄にその旨記載してください。(M00012)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.3 死亡票単体 チェック機能	死亡したとき不詳		2.1.9.3.12	「死亡したとき不詳」の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 不詳 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30112 「4-1コードテーブル」D20109 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができます。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.3 死亡票単体 チェック機能	死亡したところ		2.1.9.3.13	「死亡したところ」の入力値がマスターデータの範囲であることを確認できること。 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30122 「4-1コードテーブル」D20059 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができます。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.3 死亡票単体 チェック機能	死亡した人の住所(日本・外国の区分)		2.1.9.3.14	「死亡した人の住所(日本・外国の区分)」の入力値がマスターデータの範囲であることを確認できること。 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30132 「4-1コードテーブル」D20129 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができます。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」

大項目	中項目	小項目		機能ID (新)	機能ID (旧)	機能要件	実装区分	要件の考え方・理由	備考
2	調査票 作成機能	2.1.9.3 死亡票単体 チェック機能	国籍		2.1.9.3.15	「国籍」の入力値がマスターデータの範囲であることを確認できること。 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30172 「4-1コードテーブル」D20079 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.3 死亡票単体 チェック機能	死亡した人の 配偶者		2.1.9.3.16	「死亡した人の配偶者」の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 いる ・2 未婚 ・3 死別 ・4 離別 ・5 不詳 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30182 「4-1コードテーブル」D20022 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.3 死亡票単体 チェック機能	死亡したと きの世帯の 主な仕事		2.1.9.3.17	「死亡したときの世帯の主な仕事」の入力値がマスターデータの範囲であることを確認できること。 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30202 「4-1コードテーブル」D20089 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.3 死亡票単体 チェック機能	死亡の場所 の種別		2.1.9.3.18	「死亡の場所の種別」の入力値がマスターデータの範囲であることを確認できること。 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30232 「4-1コードテーブル」D20042 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.3 死亡票単体 チェック機能	手術の有 無、解剖の 有無		2.1.9.3.19	「手術の有無」、「解剖の有無」の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 無 ・2 有 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30352、K30382 「4-1コードテーブル」D20139 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.3 死亡票単体 チェック機能	手術の年月 日		2.1.9.3.20	「手術の年月日」の年号の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 昭和 ・2 平成 ・3 令和 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30372 「4-1コードテーブル」D20039 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.3 死亡票単体 チェック機能	手術の年月 日		2.1.9.3.21	「手術の年月日」の日付の入力値が入力可能数値の範囲内であることを確認できること。 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30372 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.3 死亡票単体 チェック機能	死因の種類		2.1.9.3.22	「死因の種類」の入力値がマスターデータの範囲であることを確認できること。 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30402 「4-1コードテーブル」D20032 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.3 死亡票単体 チェック機能	傷害発生年 月日時分		2.1.9.3.23	「傷害発生年月日時分」の年号の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 昭和 ・2 平成 ・3 令和 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30412 「4-1コードテーブル」D20039 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」

大項目	中項目	小項目		機能ID (新)	機能ID (旧)	機能要件	実装区分	要件の考え方・理由	備考
2	調査票 作成機能	2.1.9.3 死亡票単体 チェック機能	傷害発生年月日時分		2.1.9.3.24	「傷害発生年月日時分」の午前/午後の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 午前 ・2 午後 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30412 「4-1コードテーブル」D20049 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.3 死亡票単体 チェック機能	傷害発生年月日時分		2.1.9.3.25	「傷害発生年月日時分」の日付及び時間の入力値が入力可能数値の範囲内であることを確認できること。 ※1 範囲外の数字が入力された場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30412 「4-2画面メッセージ」M90029	「(参考)範囲外の数字が入力されました。再入力してください。(M90029)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.3 死亡票単体 チェック機能	傷害が発生した場所種別		2.1.9.3.26	「傷害が発生した場所種別」の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 住居 ・2 工場・建築現場 ・3 道路 ・4 その他 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30432 「4-1コードテーブル」D20052 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.3 死亡票単体 チェック機能	出生時体重		2.1.9.3.27	「出生時体重」の入力値が500g≦体重<6000gであることを確認できること。 ※1 500g≦体重<6000gでない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30462 「4-2画面メッセージ」M90059	「(参考)体重が0.5kg～6kgの範囲にありません。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。(M00059)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.3 死亡票単体 チェック機能	出生時体重不詳		2.1.9.3.28	「出生時体重不詳」の入力値が以下の値またはスペースであることを確認できること。 ・1 不詳 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30472 「4-1コードテーブル」D20109 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.3 死亡票単体 チェック機能	単胎・多胎の別		2.1.9.3.29	「単胎・多胎の別」の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 単胎 ・2 多胎 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30482 「4-1コードテーブル」D20179 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.3 死亡票単体 チェック機能	妊娠週数		2.1.9.3.30	「妊娠週数」の入力値が21<妊娠週数<44であることを確認できること。 ※1 妊娠週数が21<妊娠週数<44でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30512 「4-2画面メッセージ」M00039	「(参考)妊娠週数が22～43週の範囲にありません。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。(M00039)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.3 死亡票単体 チェック機能	妊娠週数		2.1.9.3.31	「妊娠週数」の入力値がスペースでないことを確認できること。 ※1 妊娠週数がスペースの場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30512 「4-2画面メッセージ」M00049	「(参考)妊娠週数は入力が必要です。入力するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。(M00049)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.3 死亡票単体 チェック機能	妊娠週数・不詳		2.1.9.3.32	「妊娠週数・不詳」の入力値が以下の値またはスペースであることを確認できること。 ・1 不詳 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30522 「4-1コードテーブル」D20109 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」

大項目	中項目	小項目		機能ID (新)	機能ID (旧)	機能要件	実装区分	要件の考え方・理由	備考
2	調査票 作成機能	2.1.9.3 死亡票単体 チェック機能	母体の病 態・異状の 有無		2.1.9.3.33	「母体の病態・異状の有無」の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 無 ・2 有 ・3 不詳 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30532 「4-1コードテーブル」D20062 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.3 死亡票単体 チェック機能	母の生年月 日		2.1.9.3.34	「母の生年月日」の年号の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 昭和 ・2 平成 ・3 令和 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30552 「4-1コードテーブル」D20039 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.3 死亡票単体 チェック機能	母の生年月 日		2.1.9.3.35	「母の生年月日」の日付の入力値が入力可能数値の範囲内であることを確認できること。 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30552 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.3 死亡票単体 チェック機能	母の生年月 日		2.1.9.3.36	「母の生年月日」から計算した母の年齢が15歳以上50歳未満であることを確認できること。 ※1 母の年齢が15歳未満または50歳以上の場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30552 「4-2画面メッセージ」M00342	「(参考)母の年齢が15歳未満または50歳以上です。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。(M00342)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.3 死亡票単体 チェック機能	医師名		2.1.9.3.37	「医師名」の入力値がJIS第1.2水準以内の文字であることを確認できること。 ※1 JIS第1.2水準以外の文字の場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30602 「4-2画面メッセージ」M90079	「(参考)外字が含まれています。ヨミガナを入力するか、処理を続行してください。(M90079)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.4 死産票単体 チェック機能	父の国籍、 母の国籍		2.1.9.4.1	「父の国籍」、「母の国籍」の入力値がマスターデータの範囲であることを確認できること。 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30073、K30093 「4-1コードテーブル」D20079 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.4 死産票単体 チェック機能	父の氏名、 母の氏名		2.1.9.4.2	「父の氏名」、「母の氏名」の入力値がJIS第1.2水準以内の文字であることを確認できること。 ※1 JIS第1.2水準以外の文字である場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30103、K30133 「4-2画面メッセージ」M90079	「(参考)外字が含まれています。ヨミガナを入力するか、処理を続行してください。(M90079)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.4 死産票単体 チェック機能	父の生年月 日、母の生 年月日		2.1.9.4.3	「父の生年月日」、「母の生年月日」の入力値が「元号」「年」「月」「日」いずれもスペースでないことを確認できること。 ※1 「元号」「年」「月」「日」いずれか1つでもスペースの場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30113、K30143 「4-2画面メッセージ」M00013	「(参考)「元号」「年」「月」「日」のすべての入力が必要です。入力するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。(M00013)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.4 死産票単体 チェック機能	母の年齢		2.1.9.4.4	「母の年齢」の入力値が50歳未満であることを確認できること。 ※1 50歳以上の場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30153 「4-2画面メッセージ」M00019	「(参考)母の年齢が50歳以上です。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。(M00019)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.4 死産票単体 チェック機能	死産児の男 女別		2.1.9.4.5	「死産児の男女別」の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 男 ・2 女 ・3 不詳 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30163 「4-1コードテーブル」D20013 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」

大項目	中項目	小項目		機能ID (新)	機能ID (旧)	機能要件	実装区分	要件の考え方・理由	備考
2	調査票 作成機能	2.1.9.4 死 産票単体 チェック機 能	死産児の続 き柄		2.1.9.4.6	「死産児の続き柄」の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 嫡出子 ・2 非嫡出子 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30173 「4-1コードテーブル」D20019 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.4 死 産票単体 チェック機 能	死産があっ たとき		2.1.9.4.7	「死産があったとき」の元号の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 昭和 ・2 平成 ・3 令和 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30183 「4-1コードテーブル」D20039 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.4 死 産票単体 チェック機 能	死産があっ たとき		2.1.9.4.8	「死産があったとき」の午前/午後の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 午前 ・2 午後 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30183 「4-1コードテーブル」D20049 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.4 死 産票単体 チェック機 能	死産があっ たとき		2.1.9.4.9	「死産があったとき」の入力値が、「元号」「年」「月」「日」のいずれもスペースでないことを確認できること。 ※1 「元号」「年」「月」「日」のいずれか1つでもスペースの場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30183 「4-2画面メッセージ」M00013	「(参考)「元号」「年」「月」「日」のすべての入力が必要です。入力するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。(M00013)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.4 死 産票単体 チェック機 能	死産があっ たとき		2.1.9.4.10	「死産があったとき」の日付及び時間の入力値が入力可能数値の範囲内であることを確認できること。 ※1 範囲外の時間である場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30183 「4-2画面メッセージ」M90029	「(参考)範囲外の数字が入力されました。再入力してください。(M90029)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.4 死 産票単体 チェック機 能	死産があっ たところ(日 本・外国の 区分)		2.1.9.4.11	「死産があったところ(日本・外国の区分)」の入力値がマスターデータの範囲であることを確認できること。 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30203 「4-1コードテーブル」D20129 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.4 死 産票単体 チェック機 能	死産時の世 帯の主な仕 事		2.1.9.4.12	「死産時の世帯の主な仕事」の入力値がマスターデータの範囲であることを確認できること。 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30233 「4-1コードテーブル」D20089 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.4 死 産票単体 チェック機 能	22週以後の 死産児数、 21週以前の 死産児数		2.1.9.4.13	「22週以後の死産児数」、「21週以前の死産児数」の入力値が必ず一方の欄には記載があることを確認できること。 ※1 どちらにも記載がない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30273、K30283 「4-2画面メッセージ」M00023	「(参考)この欄はこの死産児も含むので、必ずどちらかの欄に記載が必要です。修正してください。(M00023)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.4 死 産票単体 チェック機 能	妊娠期間・ 週数		2.1.9.4.14	「妊娠期間・週数」の入力値が11<妊娠週数<44であることを確認できること。 ※1 妊娠週数が11週以前又は、44週以上の場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30293 「4-2画面メッセージ」M00033、M00043	11週以前の場合「(参考)妊娠週数が11週以前の死産はありません。修正してください。(M00033)」 44週以上の場合「(参考)妊娠週数が44週以上になっています。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。(M00043)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.4 死 産票単体 チェック機 能	妊娠期間・ 日数		2.1.9.4.15	「妊娠期間・日数」の入力値が0≦妊娠日数<7であることを確認できること。 ※1 妊娠日数が0≦妊娠日数<7の範囲外の場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30303 「4-2画面メッセージ」M00209	「(参考)妊娠日数が0~6日の範囲にありません。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。(M00209)」

大項目	中項目	小項目		機能ID (新)	機能ID (旧)	機能要件	実装区分	要件の考え方・理由	備考
2	調査票 作成機能	2.1.9.4 死産票単体 チェック機能	死産児の体重		2.1.9.4.16	「死産児の体重」の入力値が体重<4500gであることを確認できること。 ※1 体重が4500g以上の場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30313 「4-2画面メッセージ」M00053	「(参考)体重が4500g以上です。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。(M00053)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.4 死産票単体 チェック機能	死産児の身長		2.1.9.4.17	「死産児の身長」の入力値が身長<58cmであることを確認できること。 ※1 身長が58cm以上の場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30333 「4-2画面メッセージ」M00303	「(参考)身長が58cm以上です。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。(M00303)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.4 死産票単体 チェック機能	体重不詳、 身長不詳		2.1.9.4.18	「体重不詳」、「身長不詳」の入力値が以下の値またはスペースであることを確認できること。 ・1 不詳 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30323、K30343 「4-1コードテーブル」D20109 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができます。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.4 死産票単体 チェック機能	胎児死亡の 時期		2.1.9.4.19	「胎児死亡の時期」の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 分娩前 ・2 分娩中 ・3 不詳 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30353 「4-1コードテーブル」D20023 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができます。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.4 死産票単体 チェック機能	死産があつた ところの 種別		2.1.9.4.20	「死産があつたところの種別」の入力値がマスターデータの範囲であることを確認できること。 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30363 「4-1コードテーブル」D20099 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができます。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.4 死産票単体 チェック機能	単胎・多胎 の別		2.1.9.4.21	「単胎・多胎の別」の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 単胎 ・2 多胎 ・3 不詳 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30383 「4-1コードテーブル」D20073 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができます。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.4 死産票単体 チェック機能	他の子の事 件簿番号・ 種別		2.1.9.4.22	「他の子の事件簿番号・種別」の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 出生票 ・2 死亡票 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30413 「4-1コードテーブル」D20169 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができます。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.4 死産票単体 チェック機能	他の子の事 件簿番号・ 番号		2.1.9.4.23	「他の子の事件簿番号・番号」の入力値が0001～9999であることを確認できること。 ※1 0001～9999以外の数字の場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30423 「4-2画面メッセージ」M90029	「(参考)範囲外の数字が入力されました。再入力してください。(M90029)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.4 死産票単体 チェック機能	死産の自然・人工別		2.1.9.4.24	「死産の自然・人工別」の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 自然 ・2 法による ・3 法によらない ・4 不明 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30433 「4-1コードテーブル」D20033 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができます。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」

大項目	中項目	小項目		機能ID (新)	機能ID (旧)	機能要件	実装区分	要件の考え方・理由	備考
2	調査票作成機能	2.1.9.4 死産票単体チェック機能	死産の自然・人工別の理由		2.1.9.4.25	「死産の自然・人工別の理由」の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 胎児側のみ ・2 母側のみ ・3 双方 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30443 「4-1コードテーブル」D20043 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」
2	調査票作成機能	2.1.9.4 死産票単体チェック機能	人工死産の理由		2.1.9.4.26	「人工死産の理由」の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 母体側 ・2 その他 ・3 双方 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30553 「4-1コードテーブル」D20053 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」
2	調査票作成機能	2.1.9.4 死産票単体チェック機能	胎児手術の有無、胎児解剖の有無		2.1.9.4.27	「胎児手術の有無」、「胎児解剖の有無」の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 無 ・2 有 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30573、K30593 「4-1コードテーブル」D20139 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」
2	調査票作成機能	2.1.9.4 死産票単体チェック機能	死産に立ち会った者		2.1.9.4.28	「死産に立ち会った者」の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 医師 ・2 助産師 ・3 その他 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30613 「4-1コードテーブル」D20119 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」
2	調査票作成機能	2.1.9.5 婚姻票単体チェック機能	市区町村受付月		2.1.9.5.1	「市区町村受付月」の入力値が1～12であることを確認できること。 ※1 1～12以外の数字の場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30064 「4-2画面メッセージ」M90029	「(参考)範囲外の数字が入力されました。再入力してください。(M90029)」
2	調査票作成機能	2.1.9.5 婚姻票単体チェック機能	夫の氏名、妻の氏名		2.1.9.5.2	「夫の氏名」、「妻の氏名」の入力値がJIS第1,2水準以内の文字であることを確認できること。 ※1 JIS第1,2水準以外の文字の場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30074、K30094 「4-2画面メッセージ」M90079	「(参考)外字が含まれています。ヨミガナを入力するか、処理を続行してください。(M90079)」
2	調査票作成機能	2.1.9.5 婚姻票単体チェック機能	夫の生年月、妻の生年月		2.1.9.5.3	「夫の生年月」、「妻の生年月」の年号の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 明治 ・2 大正 ・3 昭和 ・4 平成 ・5 令和 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30084、K30104 「4-1コードテーブル」D20149 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」
2	調査票作成機能	2.1.9.5 婚姻票単体チェック機能	夫の国籍、妻の国籍		2.1.9.5.4	「夫の国籍」、「妻の国籍」の入力値がマスターデータの範囲であることを確認できること。 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30124、K30144 「4-1コードテーブル」D20079 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」
2	調査票作成機能	2.1.9.5 婚姻票単体チェック機能	夫の住所(日本・外国の区分)		2.1.9.5.5	「夫の住所(日本・外国の区分)」の入力値がマスターデータの範囲であることを確認できること。 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30164 「4-1コードテーブル」D20069 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」

大項目	中項目	小項目		機能ID (新)	機能ID (旧)	機能要件	実装区分	要件の考え方・理由	備考
2	調査票 作成機能	2.1.9.5 婚姻票単体 チェック機能	婚姻後の夫婦の氏		2.1.9.5.6	「婚姻後の夫婦の氏」の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 夫の氏 ・2 妻の氏 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30174 「4-1コードテーブル」D20014 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.5 婚姻票単体 チェック機能	同居を始めたとき		2.1.9.5.7	「同居を始めたとき」の年号の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 大正 ・2 昭和 ・3 平成 ・4 令和 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30184 「4-1コードテーブル」D20159 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.5 婚姻票単体 チェック機能	同居を始めたとき		2.1.9.5.8	「同居を始めたとき」の入力値が、「元号」「年」「月」いずれもスペースでないことを確認できること。 ※1 「元号」「年」「月」いずれか1つでもスペースの場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30184 「4-2画面メッセージ」M90109	「(参考)「元号」「年」「月」すべての入力が必要です。入力するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。(M90109)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.5 婚姻票単体 チェック機能	夫の初婚・再婚の別、妻の初婚・再婚の別		2.1.9.5.9	「夫の初婚・再婚の別」、「妻の初婚・再婚の別」の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 初婚 ・2 死別後再婚 ・3 離別後再婚 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30194、K30214 「4-1コードテーブル」D20024 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.5 婚姻票単体 チェック機能	夫の死・離別年月、妻の死・離別年月		2.1.9.5.10	「夫の死・離別年月」、「妻の死・離別年月」の年号の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 大正 ・2 昭和 ・3 平成 ・4 令和 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30204、K30224 「4-1コードテーブル」D20159 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.5 婚姻票単体 チェック機能	同居前の夫の世帯の主な仕事、同居前の妻の世帯の主な仕事		2.1.9.5.11	「同居前の夫の世帯の主な仕事」、「同居前の妻の世帯の主な仕事」の入力値がマスターデータの範囲であることを確認できること。 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30234、K30244 「4-1コードテーブル」D20089 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.6 離婚票単体 チェック機能	市区町村受付月		2.1.9.6.1	「市区町村受付月」の入力値が1～12であることを確認できること。 ※1 1～12以外の数字の場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30065 「4-2画面メッセージ」M90029	「(参考)範囲外の数字が入力されました。再入力してください。(M90029)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.6 離婚票単体 チェック機能	夫の氏名、妻の氏名		2.1.9.6.2	「夫の氏名」、「妻の氏名」の入力値がJIS第1.2水準以内の文字であることを確認できること。 ※1 JIS第1.2水準以外の文字の場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30075、K30095 「4-2画面メッセージ」M90079	「(参考)外字が含まれています。ヨミガナを入力するか、処理を続行してください。(M90079)」

大項目	中項目	小項目		機能ID (新)	機能ID (旧)	機能要件	実装区分	要件の考え方・理由	備考
2	調査票 作成機能	2.1.9.6 離婚票単体 チェック機 能	夫の生年 月、妻の生 年月		2.1.9.6.3	「夫の生年月」、「妻の生年月」の年号の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 明治 ・2 大正 ・3 昭和 ・4 平成 ・5 令和 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30085、K30105 「4-1コードテーブル」D20149 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.6 離婚票単体 チェック機 能	夫の国籍、 妻の国籍		2.1.9.6.4	「夫の国籍」、「妻の国籍」の入力値がマスターデータの範囲であることを確認できること。 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30125、K30145 「4-1コードテーブル」D20079 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.6 離婚票単体 チェック機 能	離婚の種別		2.1.9.6.5	「離婚の種別」の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 協議 ・2 調停 ・3 審判 ・4 判決 ・5 和解 ・6 請求の認諾 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30155 「4-1コードテーブル」D20015 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.6 離婚票単体 チェック機 能	調停・審判・ 和解・請求 の認諾また は判決の年 月		2.1.9.6.6	「調停・審判・和解・請求の認諾または判決の年月」の年号の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 昭和 ・2 平成 ・3 令和 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30165 「4-1コードテーブル」D20039 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.6 離婚票単体 チェック機 能	別居する前 の住所(日 本・外国の 区分)		2.1.9.6.7	「別居する前の住所(日本・外国の区分)」の入力値がマスターデータの範囲であることを確認できること。 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30185 「4-1コードテーブル」D20069 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.6 離婚票単体 チェック機 能	夫が親権を 行う子の人 数、妻が親 権を行う子 の人数		2.1.9.6.8	「夫が親権を行う子の人数」、「妻が親権を行う子の人数」の入力値が子の数<7人であることを確認できること。 ※1 7人以上の場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30195、K30205 「4-2画面メッセージ」M00015	「(参考)親権を行う未成年の子の数が多すぎます。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。(M00015)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.6 離婚票単体 チェック機 能	同居を始め たとき		2.1.9.6.9	「同居を始めたとき」の年号の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 大正 ・2 昭和 ・3 平成 ・4 令和 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30215 「4-1コードテーブル」D20159 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」
2	調査票 作成機能	2.1.9.6 離婚票単体 チェック機 能	同居を始め たとき		2.1.9.6.10	「同居を始めたとき」の入力値が、「元号」「年」「月」のいずれもスペースでないことを確認できること。 ※1 「元号」「年」「月」のいずれか1つでもスペースの場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30215 「4-2画面メッセージ」M90109	「(参考)「元号」「年」「月」のすべての入力が必要です。入力するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。(M90109)」

大項目	中項目	小項目		機能ID (新)	機能ID (旧)	機能要件	実装区分	要件の考え方・理由	備考
2	調査票作成機能	2.1.9.6 離婚票単体チェック機能	別居したとき		2.1.9.6.11	「別居したとき」の年号の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 昭和 ・2 平成 ・3 令和 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30225 「4-1コードテーブル」D20039 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」
2	調査票作成機能	2.1.9.6 離婚票単体チェック機能	別居したとき		2.1.9.6.12	「別居したとき」の入力値が、「元号」「年」「月」のいずれもスペースでないことを確認できること。 ※1 「元号」「年」「月」のいずれか1つでもスペースの場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30225 「4-2画面メッセージ」M90109	「(参考)「元号」「年」「月」のすべての入力が必要です。入力するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。(M90109)」
2	調査票作成機能	2.1.9.6 離婚票単体チェック機能	別居前の世帯の主な仕事		2.1.9.6.13	「別居前の世帯の主な仕事」の入力値がマスターデータの範囲であることを確認できること。 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30235 「4-1コードテーブル」D20089 「4-2画面メッセージ」M90019	「(参考)この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。(M90019)」
2	調査票作成機能		保存		2.1.10	調査票情報を保存できること。	実装必須機能		
2	調査票作成機能		関連チェック		2.1.11	機能ID:2.1.9.について、「登録」時に入力値について必要な関連チェックを行うこと。 ※1 機能ID:2.1.3.の単体チェック及び関連チェックにおいてエラーがあればメッセージを発生し正しい値の入力まで繰り返すこと。 ※2 ※1の結果すべての内容審査を終了した時、レコードを人口動態調査マスタファイルに書き込むこと。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「2-5業務概要」J31000項No.3-1-3~5、J32000項No.3-2-3~5、J33000項No.3-3-5~7	
2	調査票作成機能	2.1.11.1 出生票関連チェック機能	2022年3月31日以前の嫡出子の父母の年齢制限		2.1.11.1.1	出生日時が2022年3月31日以前かつ、続き柄=1(嫡出子)のとき、父の生年月日から計算した「子が生まれたときの父の年齢」が18歳以上、母の生年月日から計算した「子が生まれたときの母の年齢」が16歳以上であることを確認できること。 ※1 嫡出子の父の年齢が18歳未満、母の年齢が16歳未満の場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30011 「4-2画面メッセージ」M00119	「(参考)嫡出子の父の年齢が18歳未満、母の年齢が16歳未満です。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。(M00119)」
2	調査票作成機能	2.1.11.1 出生票関連チェック機能	非嫡出子の父親欄		2.1.11.1.2	続き柄=2(非嫡出子)のとき、父の氏名、父の生年月日及び父の本籍、父の国籍はスペースであることを確認できること。 ※1 父に関する項目に値が入力されている場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30021 「4-2画面メッセージ」M00129	「(参考)非嫡出子の父に関する項目の入力はできません。修正してください。(M00129)」
2	調査票作成機能	2.1.11.1 出生票関連チェック機能	非嫡出子の母の年齢制限		2.1.11.1.3	続き柄=2(非嫡出子)、母の生年月日から計算した「子が生まれたときの母の年齢」が15歳以上であることを確認できること。 ※1 母の年齢が15歳未満の場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30031 「4-2画面メッセージ」M00139	「(参考)非嫡出子の母の年齢が15歳未満です。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。(M00139)」
2	調査票作成機能	2.1.11.1 出生票関連チェック機能	非嫡出子の同居を始めたとき欄		2.1.11.1.4	続き柄=2(非嫡出子)のとき、同居を始めたときがスペースであることを確認できること。 ※1 同居を始めたときがスペースでない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30041 「4-2画面メッセージ」M00041	「(参考)非嫡出子の場合、同居を始めたときの入力が必要ありません。修正してください。(M00041)」
2	調査票作成機能	2.1.11.1 出生票関連チェック機能	嫡出子の同居を始めたとき欄		2.1.11.1.5	続き柄=1(嫡出子)のとき、同居を始めたときがスペースでないことを確認できること。 ※1 同居を始めたときがスペースである場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30051 「4-2画面メッセージ」M00051	「(参考)嫡出子の場合、同居を始めたときの入力が必要です。入力してください。(M00051)」
2	調査票作成機能	2.1.11.1 出生票関連チェック機能	嫡出子の父母の年齢制限		2.1.11.1.6	続き柄=1(嫡出子)のとき、父の生年月日から計算した、同居を始めたときの父の年齢が15歳以上、母の生年月日から計算した、同居を始めたときの母の年齢が15歳以上であることを確認できること。 ※1 父母の年齢が15歳未満の場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30061 「4-2画面メッセージ」M00139	「(参考)嫡出子の父母の同居開始時の年齢が15歳未満です。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。(M00139)」

大項目	中項目	小項目		機能ID (新)	機能ID (旧)	機能要件	実装区分	要件の考え方・理由	備考
2	調査票 作成機能	2.1.11.1 出生票関連 チェック機 能	2022年4月1 日以降の摘 出子の父母 の年齢制限		2.1.11.1.7	出生日時が2022年4月1日以降かつ、続き柄=1(摘出子)のとき、父の生年月日から計算した、「子が生まれたときの父の年齢」が18歳以上、または、母の生年月日が2006年4月2日以降のとき、母の生年月日から計算した「子が生まれたときの母の年齢」が18歳以上であることを確認できること。 ※1 父母の年齢が18歳未満の場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30201 「4-2画面メッセージ」M00259	「(参考)摘出子の父の年齢が18歳未満、母の年齢が18歳未満です。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。(M00259)」
2	調査票 作成機能	2.1.11.1 出生票関連 チェック機 能	子の体重と 体重不詳の 関係		2.1.11.1.8	子の体重がスペースのとき、体重不詳=1(不詳)であることを確認できること。 ※1 体重不詳にチェックが入っていない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30071 「4-1コードテーブル」D20109 「4-2画面メッセージ」M00069	「(参考)体重欄、体重不詳欄ともに入力してありません。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。(M00069)」
2	調査票 作成機能	2.1.11.1 出生票関連 チェック機 能	子の体重と 体重不詳の 関係		2.1.11.1.9	体重不詳=1(不詳)のとき、子の体重がスペースであることを確認できること。 ※1 子の体重がスペースでない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30081 「4-2画面メッセージ」M00079	「(参考)体重欄と体重不詳欄の両方に入力してあります。どちらかの記載が不要です。修正してください。(M00079)」
2	調査票 作成機能	2.1.11.1 出生票関連 チェック機 能	子の身長と 身長不詳の 関係		2.1.11.1.10	子の身長がスペースのとき、身長不詳=1(不詳)であることを確認できること。 ※1 身長不詳にチェックが入っていない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30091 「4-1コードテーブル」D20109 「4-2画面メッセージ」M00159	「(参考)身長欄と身長不詳欄ともに入力してありません。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。(M00159)」
2	調査票 作成機能	2.1.11.1 出生票関連 チェック機 能	子の身長と 身長不詳の 関係		2.1.11.1.11	身長不詳=1(不詳)のとき、子の身長がスペースであることを確認できること。 ※1 子の身長がスペースでない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30101 「4-2画面メッセージ」M00169	「(参考)身長欄と身長不詳欄の両方に入力してあります。どちらかの記載が不要です。修正してください。(M00169)」
2	調査票 作成機能	2.1.11.1 出生票関連 チェック機 能	子の住所と 居住地の関 係(戸籍情 報システム とのデータ 連携有の場 合)		2.1.11.1.12	戸籍情報システムからの送付データの場合、子の住所と居住地の関係について、以下の内容に該当することを確認できること。 【子の住所と居住地関連チェック項目】 ・受領した市区町村コード(子の住所)と届書受付市区町村コードが等しい場合、「同・否」の数字は1であること ・受領した市区町村コード(子の住所)と届書受付市区町村コードが異なる場合、「同・否」の数字は1以外であること ※1 上記に該当しない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30111 「4-1コードテーブル」D20069 「4-2画面メッセージ」M00029	「(参考)「届書受付市区町村コード」と住所の市区町村コードの関係」と「同・否」との関係が矛盾しています。修正してください。(M00029)」
2	調査票 作成機能	2.1.11.1 出生票関連 チェック機 能	子の住所と 居住地の関 係(戸籍情 報システム とのデータ 連携なしの 場合)		2.1.11.1.13	全項目を人口動態調査事務システムで入力した場合、子の住所と居住地の関係について、以下の内容に該当することを確認できること。 【子の住所と居住地関連チェック項目】 ・入力した市区町村コード(子の住所)と届書受付市区町村コードが等しい場合、「同・否」の数字は1であること ・入力した市区町村コード(子の住所)と届書受付市区町村コードが異なる場合、「同・否」の数字は1以外であること ※1 上記に該当しない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30111 「4-1コードテーブル」D20069 「4-2画面メッセージ」M00029	「(参考)「届書受付市区町村コード」と住所の市区町村コードの関係」と「同・否」との関係が矛盾しています。修正してください。(M00029)」
2	調査票 作成機能	2.1.11.1 出生票関連 チェック機 能	多胎と出産 順位の関係		2.1.11.1.14	多胎の場合、多胎の種類・出産順位の両方が入力してあることを確認できること。 ※1 多胎の種類、出産順位が未入力の場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30121 「4-2画面メッセージ」M00089	「(参考)多胎の場合、「多胎の種類・順位」の入力が必要です。入力してください。(M00089)」
2	調査票 作成機能	2.1.11.1 出生票関連 チェック機 能	多胎と出産 順位の関係		2.1.11.1.15	多胎の場合、多胎の種類≧出産順位であることを確認できること。 ※1 多胎の種類≧出産順位でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30131 「4-2画面メッセージ」M00099	「(参考)多胎の場合、「出産順位」が「多胎の種類」を上回ることはありません。修正してください。(M00099)」

大項目	中項目	小項目	機能ID (新)	機能ID (旧)	機能要件	実装区分	要件の考え方・理由	備考
2	調査票作成機能	2.1.11.1 出生票関連チェック機能		2.1.11.1.16	多胎の場合、他の子の事件簿番号(出生・死産の別及び事件簿番号)がスペースでないことを確認できること。 ※1 他の子の事件簿番号がスペースの場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30141 「4-2画面メッセージ」M00179	「(参考)多胎の場合、他の子の事件簿番号の入力が必要です。入力してください。(M00179)」
2	調査票作成機能	2.1.11.1 出生票関連チェック機能		2.1.11.1.17	この母の出生した子の数・出生十の母の出生した子の数・死産 \geq 出生順位であることを確認できること。 ※1 出産もしくは死産した子の数が出生順位よりも少ない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30151 「4-2画面メッセージ」M00061	「(参考)この母の出生した子の数と出生順位の関係が矛盾しています。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。(M00061)」
2	調査票作成機能	2.1.11.1 出生票関連チェック機能		2.1.11.1.18	この母の出生した子の数 \leq 15であることを確認できること。 ※1 この母の出生した子の数が1未満又は16以上の場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30161 「4-2画面メッセージ」M00181、M00199	1未満の場合「(参考)この出生子も含めて記載するので、「1」以上の入力が必要です。修正してください。(M00181)」 16以上の場合「(参考)母の出生(出生子+死産児)した子の数が多すぎます。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。(M00199)」
2	調査票作成機能	2.1.11.1 出生票関連チェック機能		2.1.11.1.19	身長 \neq 妊娠週数であることを確認できること。 ※1 身長 $=$ 妊娠週数の場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30171 「4-2画面メッセージ」M00311	「(参考)身長と妊娠週数が同じ値になっています。誤りでないか確認し、確認欄に項目番号を記載してください。(M00311)」
2	調査票作成機能	2.1.11.1 出生票関連チェック機能		2.1.11.1.20	出生場所種別=1(病院)~3(助産所)のとき、出生場所名称がスペースでないことを確認できること。 ※1 出生場所名称がスペースの場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30181 「4-2画面メッセージ」M00321	「(参考)「病院」、「診療所」、「助産所」の場合は、施設名称が必要です。入力してください。(M00321)」
2	調査票作成機能	2.1.11.1 出生票関連チェック機能		2.1.11.1.21	出生場所種別=4(自宅)のとき、出生場所名称がスペースであることを確認できること。 ※1 出生場所名称がスペースでない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30191 「4-2画面メッセージ」M00331	「(参考)自宅の場合は、出生場所名称の記載の必要がありません。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。(M00331)」
2	調査票作成機能	2.1.11.2 死亡票関連チェック機能		2.1.11.2.1	配偶者の有無と配偶者の年齢の関係 配偶者=1(いる)のとき、配偶者の年齢はスペースでないことを確認できること。 ※1 配偶者の年齢がスペースである場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30012 「4-2画面メッセージ」M00032	「(参考)配偶者がいる場合は配偶者の年齢の記載が必要です。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。(M00032)」
2	調査票作成機能	2.1.11.2 死亡票関連チェック機能		2.1.11.2.2	配偶者の有無と配偶者の年齢の関係 配偶者=2~4(いない)または5(不詳)のとき、配偶者の年齢はスペースであることを確認できること。 ※1 配偶者の年齢がスペースでない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30022 「4-2画面メッセージ」M00042	「(参考)配偶者がいない場合または不詳の場合は配偶者の年齢の記載は必要ありません。修正してください。(M00042)」
2	調査票作成機能	2.1.11.2 死亡票関連チェック機能		2.1.11.2.3	配偶者の有無と配偶者の年齢の関係 配偶者の年齢がスペースでないとき、配偶者=1(いる)であることを確認できること。 ※1 配偶者=1でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30032 「4-1コードテーブル」D20022 「4-2画面メッセージ」M00052	「(参考)配偶者の年齢が記載してあるときは配偶者がいる場合です。修正してください。(M00052)」
2	調査票作成機能	2.1.11.2 死亡票関連チェック機能		2.1.11.2.4	配偶者の有無と配偶者の年齢の関係 配偶者の年齢がスペースのとき、配偶者=2~4(いない)または5(不詳)であることを確認できること。 ※1 配偶者=1の場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30042 「4-1コードテーブル」D20022 「4-2画面メッセージ」M00062	「(参考)配偶者の年齢が記載してないときは配偶者がいない場合または不詳の場合です。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。(M00062)」
2	調査票作成機能	2.1.11.2 死亡票関連チェック機能		2.1.11.2.5	年齢と配偶者の有無の関係 性別=1(男)、生年月日と死亡したときから計算した年齢が18歳未満のとき、配偶者=2(いない・未婚)であることを確認できること。 ※1 配偶者=2(いない・未婚)以外の場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30052 「4-1コードテーブル」D20022 「4-2画面メッセージ」M00072	「(参考)死亡者が18歳未満の男性であるにもかかわらず配偶者がいるになります。修正してください。(M00072)」
2	調査票作成機能	2.1.11.2 死亡票関連チェック機能		2.1.11.2.6	2022年3月31日以前の死亡者(女)の年齢と配偶者の有無の関係 死亡したときが2022年3月31日以前かつ、性別=2(女)かつ、生年月日と死亡したときから計算した年齢が16歳未満のとき、死亡した人の配偶者=2(いない・未婚)であることを確認できること。 ※1 配偶者=2(いない・未婚)以外の場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30062 「4-1コードテーブル」D20022 「4-2画面メッセージ」M00082	「(参考)死亡者が16歳未満の女性であるにもかかわらず配偶者がいるになります。修正してください。(M00082)」

大項目	中項目	小項目		機能ID (新)	機能ID (旧)	機能要件	実装区分	要件の考え方・理由	備考
2	調査票作成機能	2.1.11.2 死亡票関連チェック機能	2022年4月1日以降の死亡者(女)の年齢と配偶者の有無の関係		2.1.11.2.7	死亡したときに2022年4月1日以降かつ、性別=2(女)かつ、生年月日が2006年4月2日以降かつ、生年月日と死亡したときから計算した年齢が18歳未満のとき、死亡した人の配偶者=2(いない・未婚)であることを確認できること。 ※1 配偶者=2(いない・未婚)以外の場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30162 「4-1コードテーブル」D20022 「4-2画面メッセージ」M00132	「(参考)死亡者が18歳未満の女性であるにもかかわらず配偶者がいるになっています。修正してください。(M00132)」
2	調査票作成機能	2.1.11.2 死亡票関連チェック機能	生年月日と死亡したときの関係		2.1.11.2.8	生年月日と死亡したときに全く同じのとき、死亡までの期間が1日以内であることを確認できること。 ※1 1日以内でない場合、とメッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30072 「4-2画面メッセージ」M00092	「(参考)生年月日と死亡したときが同じであるにもかかわらず死亡までの期間が1日以上になっています。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。(M00092)」
2	調査票作成機能	2.1.11.2 死亡票関連チェック機能	死因の種類と外因死の追加事項欄の関係		2.1.11.2.9	死因の種類=2(交通)~11(不詳)のとき、外因死の追加事項欄の記載があることを確認できること。 ※1 外因死の追加事項欄の記載がない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30082 「4-2画面メッセージ」M00102	「(参考)外因死の場合は、必ず外因死の追加事項欄の記載が必要です。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。(M00102)」
2	調査票作成機能	2.1.11.2 死亡票関連チェック機能	死因の種類と外因死の追加事項欄の関係		2.1.11.2.10	外因死の追加事項欄の記載があるとき、死因の種類=2(交通)~11(不詳)であることを確認できること。 ※1 死因の種類=2(交通)~11(不詳)でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30092 「4-1コードテーブル」D20032 「4-2画面メッセージ」M00112	「(参考)外因死の追加事項欄に記載がある場合は死因の種類も外因死でなければなりません。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。(M00112)」
2	調査票作成機能	2.1.11.2 死亡票関連チェック機能	出生から365日以内に死亡した場合		2.1.11.2.11	生年月日から死亡したときまでで計算した日数が365日以内で、死因の種類=1(病死・自然死)のとき、生後1年未満で病死した場合の追加事項欄の記載があることを確認できること。 ※1 生後1年未満で病死した場合の追加事項欄の記載がない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30102 「4-2画面メッセージ」M00122	「(参考)生まれてから365日以内の病死は生後1年未満で病死した場合の追加事項の記載が必要です。入力してください。(M00122)」
2	調査票作成機能	2.1.11.2 死亡票関連チェック機能	出生から365日以内に死亡した場合		2.1.11.2.12	生年月日から死亡したときまでで計算した日数が365日以内で、死因の種類=1(病死・自然死)のとき、出生時体重がスペースなら、出生時体重不詳=1(不詳)であることを確認できること。 ※1 出生時体重不詳=1(不詳)でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30112 「4-1コードテーブル」D20109 「4-2画面メッセージ」M00069	「(参考)体重欄、体重不詳欄ともに入力してありません。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。(M00069)」
2	調査票作成機能	2.1.11.2 死亡票関連チェック機能	出生から365日以内に死亡した場合		2.1.11.2.13	生年月日から死亡したときまでで計算した日数が365日以内で、死因の種類=1(病死・自然死)のとき、出生時体重不詳=1なら、出産時体重がスペースであることを確認できること。 ※1 出産時体重がスペースでない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30122 「4-2画面メッセージ」M00079	「(参考)体重欄と体重不詳欄の両方に入力してあります。どちらかの記載が不要です。修正してください。(M00079)」
2	調査票作成機能	2.1.11.2 死亡票関連チェック機能	出生から365日以内に死亡した場合		2.1.11.2.14	生年月日から死亡したときまでで計算した日数が365日以内で、死因の種類=1(病死・自然死)のとき、多胎の場合、多胎の種類・出生順位は両方入力されていることを確認できること。 ※1 多胎の種類・出生順位は両方入力されていない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30132 「4-2画面メッセージ」M00089	「(参考)多胎の場合、「多胎の種類・順位」の入力が必要です。入力してください。(M00089)」
2	調査票作成機能	2.1.11.2 死亡票関連チェック機能	出生から365日以内に死亡した場合		2.1.11.2.15	生年月日から死亡したときまでで計算した日数が365日以内で、死因の種類=1(病死・自然死)のとき、多胎の場合、多胎の種類≧出生順位であることを確認できること。 ※1 多胎の種類≧出生順位でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30142 「4-2画面メッセージ」M00099	「(参考)多胎の場合、「出産順位」が「多胎の種類」を上回ることはありません。修正してください。(M00099)」

大項目	中項目	小項目		機能ID (新)	機能ID (旧)	機能要件	実装区分	要件の考え方・理由	備考
2	調査票 作成機能	2.1.11.2 死亡票関連 チェック機能	死亡した人の住所と届出地の関係 (戸籍情報システムとのデータ連携有)		2.1.11.2.16	戸籍情報システムからの送付データの場合、死亡した人の住所と届出地の関係について以下の内容に該当することを確認できること。 【死亡した人の住所と届出地の関連チェック項目】 ・受領した市区町村コード(死亡者の住所)と届書受付市区町村コードが等しい場合、「同・否」の数字は1であること ・受領した市区町村コード(死亡者の住所)と届書受付市区町村コードが異なる場合、「同・否」の数字は1以外であること ※1 上記に該当しない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30152 「4-1コードテーブル」D20129 「4-2画面メッセージ」M00029	「(参考)「届書受付市区町村コード」と住所地の市区町村コードの関係」と「同・否」の関係が矛盾しています。修正してください。(M00029)」
2	調査票 作成機能	2.1.11.2 死亡票関連 チェック機能	死亡した人の住所と届出地の関係 (戸籍情報システムとのデータ連携なし)		2.1.11.2.17	全項目を人口動態調査事務システムで入力した場合、死亡した人の住所と届出地の関係について以下の内容に該当することを確認できること。 【死亡した人の住所と届出地の関連チェック項目】 ・入力した市区町村コード(死亡者の住所)と届書受付市区町村コードが等しい場合、「同・否」の数字は1であること ・入力した市区町村コード(死亡者の住所)と届書受付市区町村コードが異なる場合、「同・否」の数字は1以外であること ※1 上記に該当しない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30152 「4-1コードテーブル」D20129 「4-2画面メッセージ」M00029	「(参考)「届書受付市区町村コード」と住所地の市区町村コードの関係」と「同・否」の関係が矛盾しています。修正してください。(M00029)」
2	調査票 作成機能	2.1.11.3 死産票関連 チェック機能	2022年3月31日以前の死産児の続き柄と父母の年齢の関係		2.1.11.3.1	死産があったときに2022年3月31日以前かつ、続き柄=1(届出子)のとき、父の年齢は18歳以上、母の年齢は16歳以上であることを確認できること。 ※1 父の年齢が18歳未満、母の年齢が16歳未満の場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30013 「4-2画面メッセージ」M00119	「(参考)届出子の父の年齢が18歳未満、母の年齢が16歳未満です。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。(M00119)」
2	調査票 作成機能	2.1.11.3 死産票関連 チェック機能	死産児の続き柄と父母の年齢の関係		2.1.11.3.2	続き柄=2(非届出子)のとき、父の本籍、父の国籍及び父の氏名～年齢はスペースであることを確認できること。 ※1 父の本籍、父の国籍及び父の氏名～年齢がスペースでない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30023 「4-2画面メッセージ」M00129	「(参考)非届出子の父に関する項目の入力はできません。修正してください。(M00129)」
2	調査票 作成機能	2.1.11.3 死産票関連 チェック機能	死産児の続き柄と父母の年齢の関係		2.1.11.3.3	続き柄=2(非届出子)のとき、母の年齢が15歳以上であることを確認できること。 ※1 母の年齢が15歳未満の場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30033 「4-2画面メッセージ」M00139	「(参考)非届出子の母の年齢が15歳未満です。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。(M00139)」
2	調査票 作成機能	2.1.11.3 死産票関連 チェック機能	2022年4月1日以降の死産児の続き柄と父母の年齢の関係		2.1.11.3.4	死産があったときに2022年4月1日以降かつ、続き柄=1(届出子)のとき、父の年齢は18歳以上、母の年齢が18歳以上であることを確認できること。 ※1 父母の年齢が18歳未満の場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30183 「4-2画面メッセージ」M00259	「(参考)届出子の父の年齢が18歳未満、母の年齢が18歳未満です。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。(M00259)」
2	調査票 作成機能	2.1.11.3 死産票関連 チェック機能	妊娠週数と死産の自然・人工別の関係		2.1.11.3.5	妊娠週数≥22、胎児死亡の時期にマークがあるとき、死産の自然・人工別=1(自然)であることを確認できること。 ※1 死産の自然・人工別=1(自然)でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30043 「4-1コードテーブル」D20033 「4-2画面メッセージ」M00063	「(参考)妊娠週数が22週以上であるのに、人工死産となっています。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。(M00063)」
2	調査票 作成機能	2.1.11.3 死産票関連 チェック機能	妊娠週数と死産の自然・人工別の関係		2.1.11.3.6	妊娠週数≥22のとき、死産の自然・人工別=2(法による)でないことを確認できること。 ※1 死産の自然・人工別=2(法による)の場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30053 「4-1コードテーブル」D20033 「4-2画面メッセージ」M00073	「(参考)妊娠週数が22週以上であるのに、法による人工死産となっています。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。(M00073)」
2	調査票 作成機能	2.1.11.3 死産票関連 チェック機能	妊娠週数と死産の自然・人工別の関係		2.1.11.3.7	胎児死亡の時期にマークがあるとき、妊娠週数≥22及び死産の自然・人工別=1(自然)であることを確認できること。 ※1 妊娠週数≥22及び死産の自然・人工別=1(自然)でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30063 「4-2画面メッセージ」M00083	「(参考)胎児死亡の時期の記載があるのに、自然死産以外となっています。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。(M00083)」

大項目	中項目	小項目		機能ID (新)	機能ID (旧)	機能要件	実装区分	要件の考え方・理由	備考
2	調査票作成機能	2.1.11.3 死産票関連チェック機能	妊娠週数と死産の自然・人工別の関係		2.1.11.3.8	死産の自然・人工別=1(自然)で妊娠週数≥22のとき、胎児死亡の時期にマークがあることを確認できること。 ※1 胎児死亡の時期にマークがない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」JL30073 「4-2画面メッセージ」M00093	「(参考)自然死産で妊娠週数が22週以後のときは、胎児死亡の時期の記載が必要です。入力してください。(M00093)」
2	調査票作成機能	2.1.11.3 死産票関連チェック機能	妊娠週数と死産の自然・人工別の関係		2.1.11.3.9	死産の自然・人工別=2(法による)のとき、妊娠週数<22であることを確認できること。 ※1 妊娠週数が22週以上である場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」JL30083 「4-2画面メッセージ」M00103	「(参考)法による人工死産であるのに、妊娠週数が22週以上です。修正するか、誤りであれば確認欄に項目番号を記載してください。(M00103)」
2	調査票作成機能	2.1.11.3 死産票関連チェック機能	死産があったときの母の住所と届出地の関係		2.1.11.3.10	死産があったときの母の住所と届出地の関係について以下の内容に該当することを確認できること。 【死産があったときの母の住所と届出地の関連チェック項目】 ・入力した市区町村コード(母の住所)と届書受付市区町村コードが等しい場合、「同・否」の数字は1であること ・入力した市区町村コード(母の住所)と届書受付市区町村コードが異なる場合、「同・否」の数字は1以外であること ※1 上記の内容に該当しない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」JL30093 「4-1コードテーブル」D20129 「4-2画面メッセージ」M00029	「(参考)「届書受付市区町村コード」と住所の市区町村コードの関係」と「同・否」との関係が矛盾しています。修正してください。(M00029)」
2	調査票作成機能	2.1.11.3 死産票関連チェック機能	死産児の体重と体重不詳の関係		2.1.11.3.11	死産児の体重がスペースのとき、体重不詳=1(不詳)であることを確認できること。 ※1 体重不詳=1(不詳)でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」JL30103 「4-1コードテーブル」D20109 「4-2画面メッセージ」M00069	「(参考)体重欄、体重不詳欄ともに入力してありません。修正するか、誤りであれば確認欄に項目番号を記載してください。(M00069)」
2	調査票作成機能	2.1.11.3 死産票関連チェック機能	死産児の体重と体重不詳の関係		2.1.11.3.12	体重不詳=1(不詳)のとき、死産児の体重はスペースであることを確認できること。 ※1 死産児の体重がスペースでない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」JL30113 「4-2画面メッセージ」M00079	「(参考)体重欄と体重不詳欄の両方に入力してあります。どちらかの記載が不要です。修正してください。(M00079)」
2	調査票作成機能	2.1.11.3 死産票関連チェック機能	死産児の身長と体重不詳の関係		2.1.11.3.13	死産児の身長がスペースのとき、身長不詳=1(不詳)であることを確認できること。 ※1 身長不詳=1(不詳)でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」JL30123 「4-1コードテーブル」D20109 「4-2画面メッセージ」M00159	「(参考)身長欄、身長不詳欄ともに入力してありません。修正するか、誤りであれば確認欄に項目番号を記載してください。(M00159)」
2	調査票作成機能	2.1.11.3 死産票関連チェック機能	死産児の体重と体重不詳の関係		2.1.11.3.14	身長不詳=1(不詳)のとき、死産児の身長はスペースであることを確認できること。 ※1 死産児の身長がスペースでない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」JL30133 「4-2画面メッセージ」M00169	「(参考)身長欄と身長不詳欄の両方に入力してあります。どちらかの記載が不要です。修正してください。(M00169)」
2	調査票作成機能	2.1.11.3 死産票関連チェック機能	多胎と多胎の種類、出産順位の関係		2.1.11.3.15	多胎の場合、多胎の種類・出産順位はすべて入力してあることを確認できること。 ※1 多胎の種類・出産順位をすべて入力していない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」JL30143 「4-2画面メッセージ」M00089	「(参考)多胎の場合、「多胎の種類・順位」の入力が必要です。入力してください。(M00089)」
2	調査票作成機能	2.1.11.3 死産票関連チェック機能	多胎と多胎の種類、出産順位の関係		2.1.11.3.16	多胎の場合、多胎の種類≥出産順位であることを確認できること。 ※1 出産順位が多胎の種類よりも多い場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」JL30153 「4-2画面メッセージ」M00099	「(参考)多胎の場合、「出産順位」が「多胎の種類」を上回ることはありません。修正してください。(M00099)」
2	調査票作成機能	2.1.11.3 死産票関連チェック機能	多胎と他の子の事件簿番号の関係		2.1.11.3.17	多胎の場合、他の子の事件簿番号(死産・出生の別及び事件簿番号)はスペースでないことを確認できること。 ※1 他の子の事件簿番号がスペースの場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」JL30163 「4-2画面メッセージ」M00179	「(参考)多胎の場合、他の子の事件簿番号の入力が必要です。入力してください。(M00179)」
2	調査票作成機能	2.1.11.3 死産票関連チェック機能	この母の出産した子の数		2.1.11.3.18	この母の出産した子の数(出生子+22週以後の死産児+21週以前の死産児)について、1≤この母の出産した子の数≤15であることを確認できること。 ※1 この母の出産した子の数が1未満の場合、メッセージを表示すること。 ※2 この母の出産した子の数が16以上の場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」JL30173 「4-2画面メッセージ」M00353、M00199	「(参考)この出生子も含めて記載するので、「1」以上の入力が必要です。修正するか、誤りであれば確認欄に項目番号を記載してください。(M00353)」 「(参考)母の出産(出生子+死産児)した子の数が多すぎます。修正するか、誤りであれば確認欄に項目番号を記載してください。(M00199)」

大項目	中項目	小項目	機能ID (新)	機能ID (旧)	機能要件	実装区分	要件の考え方・理由	備考
2	調査票作成機能	2.1.11.4 婚姻票関連チェック機能		2.1.11.4.1	市区町村受付年月日と夫の生年月日から計算した夫の年齢が18歳以上であることを確認できること。 ※1 夫の年齢が18歳未満の場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30014 「4-2画面メッセージ」M00219	「(参考)夫の年齢が18歳未満になっていません。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。(M00219)」
2	調査票作成機能	2.1.11.4 婚姻票関連チェック機能		2.1.11.4.2	受付年月日が2022年3月31日以前のおとき、市区町村受付年月日と妻の生年月日から計算した妻の年齢が16歳以上であることを確認できること。 ※1 妻の年齢が16歳未満の場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30024 「4-2画面メッセージ」M00229	「(参考)妻の年齢が16歳未満になっていません。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。(M00229)」
2	調査票作成機能	2.1.11.4 婚姻票関連チェック機能		2.1.11.4.3	受付年月日が2022年4月1日以降のおとき、受付年月日と妻の生年月日から計算した妻の年齢が18歳以上であることを確認できること。 ※1 妻の年齢が18歳未満の場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30134 「4-2画面メッセージ」M00269	「(参考)妻の年齢が18歳未満になっていません。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。(M00269)」
2	調査票作成機能	2.1.11.4 婚姻票関連チェック機能		2.1.11.4.4	夫の生年月と同居を始めたおときから計算した夫の年齢が15歳以上であることを確認できること。 ※1 夫の年齢が15歳未満の場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30034 「4-2画面メッセージ」M00239	「(参考)同居を始めたおときの夫の年齢が15歳未満です。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。(M00239)」
2	調査票作成機能	2.1.11.4 婚姻票関連チェック機能		2.1.11.4.5	妻の生年月と同居を始めたおときから計算した妻の年齢が15歳以上であることを確認できること。 ※1 妻の年齢が15歳未満の場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30044 「4-2画面メッセージ」M00249	「(参考)同居を始めたおときの妻の年齢が15歳未満です。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。(M00249)」
2	調査票作成機能	2.1.11.4 婚姻票関連チェック機能		2.1.11.4.6	夫の生年月と夫の死・離別年月から計算した夫の年齢が18歳以上であることを確認できること。 ※1 夫の年齢が18歳未満の場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30054 「4-2画面メッセージ」M00014	「(参考)婚姻解消時の夫の年齢が18歳未満です。修正してください。(M00014)」
2	調査票作成機能	2.1.11.4 婚姻票関連チェック機能		2.1.11.4.7	受付年月日が2022年3月31日以前のおとき、妻の生年月と妻の死・離別年月から計算した妻の年齢が16歳以上であることを確認できること。 ※1 妻の年齢が16歳未満の場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30064 「4-2画面メッセージ」M00024	「(参考)婚姻解消時の妻の年齢が16歳未満です。修正してください。(M00024)」
2	調査票作成機能	2.1.11.4 婚姻票関連チェック機能		2.1.11.4.8	受付年月日が2022年4月1日以降のおとき、妻の生年月と妻の死・離別年月から計算した妻の年齢が18歳以上であることを確認できること。 ※1 妻の年齢が18歳未満の場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30134 「4-2画面メッセージ」M00269	「(参考)婚姻解消時の妻の年齢が18歳未満になっていません。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。(M00269)」
2	調査票作成機能	2.1.11.4 婚姻票関連チェック機能		2.1.11.4.9	同居を始めたおときと夫の死・離別年月が同一でないことを確認できること。 ※1 同居を始めたおときと夫の死・離別年月が同一である場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30074 「4-2画面メッセージ」M00034	「(参考)同居を始めたおときと夫の婚姻解消時が同一になっています。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。(M00034)」
2	調査票作成機能	2.1.11.4 婚姻票関連チェック機能		2.1.11.4.10	初婚・再婚の別=1(初婚)のおとき、死・離別年月はスペースであることを確認できること。 ※1 死・離別年月がスペースでない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30084 「4-2画面メッセージ」M00044	「(参考)初婚の場合、婚姻解消年月の記載は必要ありません。修正してください。(M00044)」
2	調査票作成機能	2.1.11.4 婚姻票関連チェック機能		2.1.11.4.11	初婚・再婚の別=2(離別)または3(死別)のおとき、死・離別年月はスペースでないことを確認できること。 ※1 死・離別年月がスペースの場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30094 「4-2画面メッセージ」M00054	「(参考)再婚の場合、婚姻解消年月の記載が必要ですが、初婚ではありません。修正するか、誤りでなければ備考欄にその旨記載してください。(M00054)」
2	調査票作成機能	2.1.11.4 婚姻票関連チェック機能		2.1.11.4.12	死・離別年月に記載があるおとき、初婚・再婚の別=2(離別)または3(死別)であることを確認できること。 ※1 初婚・再婚の別=2(離別)または3(死別)でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30104 「4-2画面メッセージ」M00064	「(参考)婚姻解消年月に記載があるおときは、初婚ではありません。修正してください。(M00064)」

大項目	中項目	小項目	機能ID (新)	機能ID (旧)	機能要件	実装区分	要件の考え方・理由	備考
2	調査票 作成機能	2.1.11.4 離婚 票関連 チェック機 能		2.1.11.4.13	夫の死・離別年月と妻の死・離別年月が同一でないことを確認できること。 ※1 夫の死・離別年月と妻の死・離別年月が同じ場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」JL30114 「4-2画面メッセージ」M00074	「(参考)夫妻の婚姻解消年月が同一です。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。(M00074)」
2	調査票 作成機能	2.1.11.5 離婚 票関連 チェック機 能		2.1.11.5.1	市区町村受付年月日と夫の生年月日から計算した夫の年齢が18歳以上であることを確認できること。 ※1 夫の年齢が18歳未満の場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」JL30015 「4-2画面メッセージ」M00219	「(参考)夫の年齢が18歳未満になっています。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。(M00219)」
2	調査票 作成機能	2.1.11.5 離婚 票関連 チェック機 能		2.1.11.5.2	受付年月日が2022年3月31日以前の場合、受付年月日と妻の生年月日から計算した妻の年齢が16歳以上であることを確認できること。 ※1 妻の年齢が16歳未満の場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」JL30025 「4-2画面メッセージ」M00229	「(参考)妻の年齢が16歳未満になっています。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。(M00229)」
2	調査票 作成機能	2.1.11.5 離婚 票関連 チェック機 能		2.1.11.5.3	受付年月日が2022年4月1日以降の場合、受付年月日と妻の生年月日から計算した妻の年齢が18歳以上であることを確認できること。 ※1 妻の年齢が18歳未満の場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」JL30095 「4-2画面メッセージ」M00269	「(参考)妻の年齢が18歳未満になっています。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。(M00269)」
2	調査票 作成機能	2.1.11.5 離婚 票関連 チェック機 能		2.1.11.5.4	夫の生年月日と同居を始めたときから計算した夫の年齢が15歳以上であることを確認できること。 ※1 夫の年齢が15歳未満の場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」JL30035 「4-2画面メッセージ」M00239	「(参考)同居を始めたときの夫の年齢が15歳未満です。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。(M00239)」
2	調査票 作成機能	2.1.11.5 離婚 票関連 チェック機 能		2.1.11.5.5	妻の生年月日と同居を始めたときから計算した妻の年齢が15歳以上であることを確認できること。 ※1 妻の年齢が15歳未満の場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」JL30045 「4-2画面メッセージ」M00249	「(参考)同居を始めたときの妻の年齢が15歳未満です。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。(M00249)」
2	調査票 作成機能	2.1.11.5 離婚 票関連 チェック機 能		2.1.11.5.6	離婚の種類=1(協議)のとき、調停・審判・和解・請求の認諾または判決の年月はスペースであることを確認できること。 ※1 調停・審判・和解・請求の認諾または判決の年月がスペースでない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」JL30055 「4-2画面メッセージ」M00025	「(参考)協議離婚の場合、調停・審判・和解・請求の認諾または判決の年月の記載は必要ありません。修正してください。(M00025)」
2	調査票 作成機能	2.1.11.5 離婚 票関連 チェック機 能		2.1.11.5.7	離婚の種類=2(調停)・3(審判)・4(判決)・5(和解)または6(請求の承認)のとき、調停・審判・和解・請求の認諾または判決の年月がスペースでないことを確認できること。 ※1 調停・審判・和解・請求の認諾または判決の年月がスペースである場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」JL30065 「4-2画面メッセージ」M00035	「(参考)調停、審判、和解、請求の認諾または判決による離婚の場合、調停・審判・和解・請求の認諾または判決の年月の記載が必要です。修正してください。(M00035)」
2	調査票 作成機能	2.1.11.5 離婚 票関連 チェック機 能		2.1.11.5.8	調停・審判・和解・請求の認諾または判決の年月に記載があるとき、離婚の種類は2(調停)・3(審判)・4(判決)・5(和解)または6(請求の承認)であることを確認できること。 ※1 離婚の種類=1(協議)の場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」JL30075 「4-1コードテーブル」D20015 「4-2画面メッセージ」M00045	「(参考)調停・審判・和解・請求の認諾または判決の年月に記載があるときは、協議離婚ではありません。修正してください。(M00045)」
2	調査票 作成機能	2.1.11.5 離婚 票関連 チェック機 能		2.1.11.5.9	同居を始めたときの年月<別居したときの年月であることを確認できること。 ※1 同居を始めたときの年月<別居したときの年月でない場合、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」JL30085 「4-2画面メッセージ」M00055	「(参考)同居を始めたときと別居したときの関係が矛盾しています。修正してください。(M00055)」
2	調査票 作成機能			2.1.12	調査票の作成が必要な届書レコードが存在する場合、メッセージを表示し処理を継続するか終了するか選択できること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4業務概要」J3-1-6	
2	調査票 作成機能			2.1.13	人口動態調査票の作成を要さない届書レコードを不要レコードに設定できること。 ※1 不要レコードは、そのレコードが存在する限り、必要なレコードに復帰できる	標準オプション 機能	標準仕様書第三版 「3-4業務概要」J31000	
2	調査票 作成機能			2.1.14	調査票情報を削除できること。	実装必須機能		

大項目	中項目	小項目		機能ID (新)	機能ID (旧)	機能要件	実装区分	要件の考え方・理由	備考
2	調査票 作成機能		再入力データ		2.1.15	決裁前と後に作成したデータを管理できること。	標準オプション 機能	決裁前と後で作成したデータ双方を保持し、画面上で要否を判別させる。	
2	調査票 検索機能		検索		2.2.1	調査票種別、事件発生日、受付日、受領番号で、作成済み調査票を検索できること。	実装必須機能		
2	調査票 一覧管理機能		検索結果		2.3.1	機能ID:2.2.1.での検索結果を一覧で表示できること。 ※1 一覧画面において、進捗、調査票送付日、事件簿番号、受付日、受領番号を表示すること	標準オプション 機能		
2	調査票 一覧管理機能		処理状況		2.3.2	出生、死亡、婚姻及び離婚の各届書レコードの戸籍情報システムからの受付状況及び人口動態調査事務システムでの当該レコードの処理状況を表示すること。 死産届書の人口動態調査事務システムでの処理状況を画面に表示すること。	標準オプション 機能	標準仕様書第三版 「3-4業務概要」1-3-1	
2	調査票 一覧管理機能		処理状況出力		2.3.3	機能ID:2.3.2.の画面を出力できること。	標準オプション 機能	標準仕様書第三版 「3-4業務概要」1-3-1	
2	調査票 出力機能		電子媒体出力		2.4.1	調査票の電子媒体出力ができること。 ※1 出力範囲を指定しての出力が可能 ※3 文字コードはS-JIS又はUNICODEを使用 ※4 出力前に電子媒体を初期化すること	実装必須機能		
2	調査票 出力機能		出力		2.4.2	機能ID:2.4.1.において電子媒体出力した調査票に、外字が含まれている場合、外字出現情報一覧表が出力されること。	実装必須機能		
2	調査票 出力機能		出力		2.4.3	任意のタイミングで媒体への出力内容を画面上で確認できること。	標準オプション 機能		
2	調査票 出力機能		出力		2.4.4	調査票の紙媒体出力ができること。 ※1 一括出力(前回出力以降に作成された調査票を出力)と個票出力(指定した事件簿番号の調査票を出力)の両方が可能 ※2 該当するレコードが存在する限り出力すること ※3 紙媒体での出力の場合、外字も印字されるため、外字出現情報一覧の出力は不要 ※4 調査票の枠の印刷とデータの印字ができること、また、手書き用に、枠のみの印刷ができること。	実装必須機能		
2	調査票 出力機能		事件簿番号 修正		2.4.5	機能ID:2.4.1及び2.4.4において、調査票出力前に事件簿番号が修正できること。 ※1 開始番号の入力により自動で連番が振れること。 ※2 ※1に対し、手動でも番号が振れること。	標準オプション 機能		
2	調査票 出力機能		報告漏れ防止		2.4.6	機能ID:2.4.1において、報告漏れを防止する為に注意喚起などのメッセージを出力する機能を実装すること。	実装必須機能	受理照会した届書の調査票を報告漏れすることがあることから、報告漏れをチェックする	例: 該当がある時に確認メッセージを出力する、該当の有無にかかわらず、毎回確認メッセージを出力する等
3 事件簿									
3	事件簿 検索機能		調査票検索		3.1.1	作成場所、調査票種別、送付年月日で調査票を抽出できること。 ※1 抽出には送付年月日の入力が必要	標準オプション 機能		
3	事件簿 一覧管理機能		一覧表示		3.2.1	機能ID:3.1.1.での抽出結果を一覧で表示できること。 ※1 事件簿番号の降順で表示すること ※2 一覧画面において、進捗、調査票送付日、事件簿番号、受付日、受領番号を表示すること	実装必須機能		
3	事件簿 一覧管理機能		処理状況		3.2.2	機能ID:3.2.1.において、人口動態調査事務システムからダウンロードされたレコードの処理状況及び全項目入力したレコードの詳細情報を画面上に出力すること。	標準オプション 機能	標準仕様書第三版 「3-4業務概要」3-6-1	
3	事件簿 一覧管理機能		支所管理		3.2.3	機能ID:3.2.1.において、支所ごとに絞り込みができること。	標準オプション 機能		

大項目	中項目	小項目		機能ID (新)	機能ID (旧)	機能要件	実装区分	要件の考え方・理由	備考
3 事件簿	3.2 事件簿 一覧管理機 能		削除		3.2.4	事件簿情報を削除できること。	標準オプション 機能		
3 事件簿	3.3 事件簿 出力機能		プレビュー 表示		3.3.1	事件簿の出力イメージを表示できること。	実装必須機能		
3 事件簿	3.3 事件簿 出力機能		出力		3.3.2	事件簿及び番号簿(機能ID:3.2.1の一覧画面)を出力できること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4業務概要」3-6-1	
3 事件簿	3.3 事件簿 出力機能		出力		3.3.3	機能ID:3.3.2について、全件出力できること。 ※1 該年度に届書を受付け、調査票を作成した事件について出力 すること	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4業務概要」3-6-2	
3 事件簿	3.3 事件簿 出力機能		出力		3.3.4	機能ID:3.3.2について、指定出力できること。 ※1 指定した「月」に受付けた届書のうち、調査票を作成した事件につ いて出力すること ※2 削除した事件も含む	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4業務概要」3-6-2	
4 人口動態調査市町村送付票									
4 人口動 態調査市町 村送付票	4.1 送付票 作成機能		新規作成		4.1.1	送付票の新規作成ができること。	実装必須機能		
4 人口動 態調査市町 村送付票	4.1 送付票 作成機能		保存		4.1.2	送付票情報を保存できること。	実装必須機能		
4 人口動 態調査市町 村送付票	4.1 送付票 作成機能		修正		4.1.3	作成済み送付票の修正ができること。 ※1 送付票一覧画面において、修正したい送付票を押下することで修 正可能	実装必須機能		
4 人口動 態調査市町 村送付票	4.1 送付票 作成機能		削除		4.1.4	送付票情報を削除できること。 ※1 送付票一覧画面において、削除したい送付票を選択し、削除ボタ ン押下で削除可能	標準オプション 機能		
4 人口動 態調査市町 村送付票	4.2 送付票 検索機能		送付票検索		4.2.1	処理年度を指定することで、送付票情報を検索できること。	実装必須機能		
4 人口動 態調査市町 村送付票	4.3 送付票 一覧管理機 能		送付票検索 結果		4.3.1	機能ID:4.2.1.での検索結果を一覧で表示できること。 ※1 送付日の降順で表示すること ※2 一覧画面において、送付票番号、送付日、出生票番号、死亡票番 号、死産票番号、婚姻票番号、離婚票番号を表示すること	実装必須機能		
4 人口動 態調査市町 村送付票	4.3 送付票 一覧管理機 能		送付票検索 結果		4.3.2	機能ID:4.3.1.での検索結果について1件ずつ送付票出力範囲情報が 表示できること。	実装必須機能		
4 人口動 態調査市町 村送付票	4.4 送付票 出力機能		プレビュー 表示		4.4.1	送付票の出力イメージを表示できること。	実装必須機能		
4 人口動 態調査市町 村送付票	4.4 送付票 出力機能		出力		4.4.2	既存の送付票を一覧から選択し出力できること。 ※1 複数出力可	実装必須機能		
4 人口動 態調査市町 村送付票	4.4 送付票 出力機能		出力		4.4.3	送付番号、送付年月日を入力し、事件簿番号を設定することで、新規 の送付票を出力できること。 ※1 送付票番号、送付年月日にはそれぞれ、作成済みの送付票番号 のうち最大値+1、本日の日付を初期値として設定	実装必須機能		

大項目	中項目	小項目		機能ID (新)	機能ID (旧)	機能要件	実装区分	要件の考え方・理由	備考
4 人口動態調査市町村送付票	4.4 送付票出力機能		自動出力		4.4.4	機能ID:4.4.3において、自動出力ができること。 ※1 前回送付票に記載した事件簿番号以降の事件簿番号に関する送付票の出力を行うこと	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4業務概要」1-2-1	
4 人口動態調査市町村送付票	4.4 送付票出力機能		出力		4.4.5	機能ID:4.4.3において、番号入力ができること。 ※1 送付する調査票の事件簿番号を指定して出力を行うこと ※2 入力値と実際のレコードに矛盾がないか審査すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4業務概要」1-2-3	
4 人口動態調査市町村送付票	4.4 送付票出力機能		出力		4.4.6	機能ID:4.4.5において、自動で事件簿番号を取得できること。	標準オプション機能		
4 人口動態調査市町村送付票	4.4 送付票出力機能		出力		4.4.7	機能ID:4.4.3において、該当する調査票が存在しない場合は、メッセージを表示すること。	実装必須機能	標準仕様書第三版 「3-4業務概要」1-2-2 「4-2画面メッセージ」M12028	「(参考)送付すべき調査票が存在しません。確認してください。(M12028)」
4 人口動態調査市町村送付票	4.4 送付票出力機能		出力日登録		4.4.8	送付票に含まれた調査票について、調査票送付日レコードに出力日が登録されること。	実装必須機能		
5 受理証明書									
5 受理証明書	5.1 死産票作成機能		入力		5.1.1	以下の項目をシステム入力して印字ができること。 ・届出人の戸籍(国籍)の表示 ・届出人の氏名 ・届出の要旨	実装必須機能		
5 受理証明書	5.2 死産票検索機能		検索		5.2.1	支所名、死産があったとき、受付日を指定することで、死産票情報を抽出できること。	実装必須機能		
5 受理証明書	5.3 死産票一覧管理機能		検索結果		5.3.1	機能ID:5.2.1の検索結果を一覧で表示できること。 ※1 受付日及び事件簿番号の降順で表示すること ※2 一覧画面において、進捗、事件簿番号、受付日、父の氏名、母の氏名、分娩日を表示すること	実装必須機能		
5 受理証明書	5.4 受理証明書出力機能		プレビュー表示		5.4.1	機能ID:5.3.1で表示された死産票一覧から選択した死産票の受理証明書について出力イメージを表示できること。	実装必須機能		
5 受理証明書	5.4 受理証明書出力機能		出力		5.4.2	機能ID:5.3.1で表示された死産票一覧から選択した死産票について受理証明書を出力できること。 ※1 複数出力可。 ※2 出力前に出力先及び管掌者を設定できること。 ※3 イメージ表示ができること。	実装必須機能		